

門二二  
卷

盈納法

○ 取分令分。布施銀分。  
○ 未申後互留仕分りり。  
○ 真れい申分。今度目分。  
透枚位分

方股術

○ 天并の透枚と申方と知  
○ 縦横の透枚と申方と知

同平法

○ 畧術と申人。○ 亦木術  
○ 相應同平 増補

畧術二系

同平法

○ 畧術と申人。○ 亦木術

曾開法

増補同平法開法抄二之卷目錄

盈納法

○ 買物有銀と知申 人取布枚知申

透枚位分

○ 透枚と申方と知

軍書分りり

○ 縦し目と知申

方股術

○ 透枚と申方と知

同平法

○ 同平と申方と知

相應同平法

○ 相應と知縦横と知申

畧術同平法

○ 透と知縦横と知申

同平法

○ 縦横と知申

相直用之

○外他の算術

○帯能周之

○別術

和利乘実陽除商

○六石六斗六拾ろろろ

○車倍令ろろろ

○三乘四乘五乘果法

方朧直

○活書朧並。瘧産

○四ノ列直。五五ノ列直

○六六ノ列直。七七ノ列直

○八八ノ列直。九九ノ列直

○九番云く方と如

○十自因列直

相直用之

外他の算

○帯能周之

ろろの法と如て方朧直

和利乘実陽除商

を本と拾年と利は何割と如き女

方朧直

四方同枚とろろ

三二九朧直

四十六朧直

五五廿五朧直

六六卅六朧直

七七四十九朧直

八八六十四朧直

九九八十一朧直

十自因百朧直

○十自因列直

九く同枚とろろ

○十自因方と並と如

○方と如と並と如

○八し箇。朧並一徑何と如

○朧並二徑何と如

○一徑何と如

○右月め七朧枚と如

○方朧と朧枚と如

三方並

○下二個より十個と如

○常盤と人分朧の事

○朧並

○三方並と朧並と如

○方朧積

○枚より方と如別術

二廻四朧直

三廻六朧直

四廻八朧直

五廻十朧直

六廻十二朧直

七廻十四朧直

三方並

年三角とろろ

○朧並

年とくろろ

方朧積

四方枚成とろろ

三方朧積

三方枚成とろろ

○朧積

枚枚成とろろ

月と朧入と如

連積町見と事

三方准積

。積の方と如列術  
圖准積

。累法く根元

。方准積三方准板如示

。市公も分と如定法

月し如入夜し

。母子し男女と如り示

。如り商人言想と如り

遠候町見し

。町表しそ積并身と遠候

。門し度と入積示

。五樹し入積

。海中海し入積

。...

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

盈胸し如えたるハハハハ

全三友りし十九六七拾七友

式分りしく式友三友り

十九六七拾八友二友り

人教と台

言云百五拾八人

法云七拾七友五内半公

七五内半三十分七五と右

重なりと三友と内二友七五

引分三友と右と割

布能限三友元

十九六七拾七友り

式友元施し色足倍

教法教と同

言云倍教式言三十九人

盈 胸 法

増補算法綱目抄二巻

今買物有浪客客と買ハ客ハ是なり

又買目之買ハ拾八友終り買物教何行と台

言云買物教三友 浪百三拾目

法云拾八と客と合を重なり拾五

友内半目引分り客ハ是なりと

と割し付買物教三友也買物教

一買目と色百式拾目と客は拾八

加て百本目と客又三友買物教一客と

色百三拾客と客内客引分り

太法し客と客と客と合なり

浪敷千七百七拾五枚

法云六枚の内三枚引取  
一七浪と刻く

布能浪二枚元能八面足  
六枚元能八面五枚を

傍敷二百二十枚  
浪敷七百五枚

法ハ右目ヨク

たし六枚人ヨクと買付  
まへハ未指合六枚と令十

二枚五分と浪敷六枚下買又  
まへハ未指合六枚六枚と令

指合六枚浪敷六枚下買ハ  
買付合六枚と買付合六枚

未指合六枚

浪五十八枚

法云六枚の未指合六枚  
浪と引取浪と刻十石

二枚六枚合六枚六枚と令  
是と浪の未指合六枚引取

六石六枚合六枚六枚と令  
未指合六枚と令合六枚

二枚浪の浪と引取浪と  
刻八枚九八三三三三三

是と浪の未指合六枚引取  
五枚二六六六六と浪敷

と刻一取未指合六枚引取  
取と知十石六枚と二六

六枚引取十二枚引取十三  
取二五引取二六六六と刻

買物敷より取く下取し是を三分  
又より取く白下取と引ハ買物敷より取

ての是を三分と刻ハ平均取つて  
成て買物敷より取く

五人指の下と布と目ヨク人ヨク  
八指りりくは五五人不足七指りり

と拾五指りりくは五五人不足七指りり  
何れと向

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

言云五人指五人 布敷百指六指  
法ハ右目ヨク

又云く布八指花と引ハ五人指六指花

今抄料理細二枚鯉三條と浪八拾枚中下実二枚十細二枚鯉  
と浪六拾枚中下実二枚時産後多中下実之流何れに  
吾云細一枚有浪拾枚 鯉三條有浪拾枚中下

法云細し細二枚と後細一唯少け二ワ又次細三枚と後細三唯  
少け九ツ之は月少く右より流りて右に列せ給く浪八十五中下  
又細三唯少け中八十五中下又次浪六十五中下少く鯉三唯と  
少け百八十五中下又少け百八十五中下より流り百目。少くもとた  
目安七ツとより列細三枚と後代浪拾枚と如く

浪百目と後細三枚と後代浪拾枚と如く  
鯉三唯と実少け六細三枚と後浪拾枚と如く  
吾云 鯉三唯少け浪七中下二至七細一枚有浪七中下。七中下  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

細三枚と後代浪百目と如く  
金中色浪五色の重自十貫。五貫目金中色浪一貫目浪五と金中色  
金中色と浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
吾云 金中色浪五と如く金中色浪五と如く金中色浪五と如く  
法云先二色二色二色三色細三枚代浪百目又鯉三唯細三枚少  
代浪百目 又少く鯉三唯本と後細三枚本と如合十五七五と如  
又少く細三枚と後細三唯少け合九と如少け少く少け九と如  
七五と如列少く細三枚と後代浪百目少け二百目又少け

自問是少二

遠 近 位 分

今七書一海義十六冊と右平記四冊ハ  
重後以のそ公紀をも冊付を平記ハ浪五  
下の中下重付と流一冊充(重後)は  
重後と如

後りけ後と月ひて二人  
四角をよきとして人たし  
後りけ後と月井と仕と  
し四角何らと台

言云 三回四角

法よりく二人と多合九角  
と後とさとし半角よりけ  
四角。五角と後二人多合  
四角と後と半五角よりけ  
百八十角と後言合五音十  
五角のよきと 別よりく九  
角より四角と列後よりけ  
とわ法よりと訓の二より  
後後より百指七角と後け

四不足の後後半角の  
後りて三より別二十六角と後  
是三人四角の後後く是より  
半角の如後より八指角の  
二人四角の後後より八十角  
二人自圓く四角と後二三百  
二十四角と後より六人自  
圓く二十六角と後より角  
九角と後より同半法除  
二より四角と後く他二人  
四角の後後より二十六角と後  
より付は成六角と九角  
と後より三百二十四角と  
後より六人自圓の  
たより訓て同半よりと

方股術

惣巻後浪三拾五女  
傳義一冊浪三下空  
右年記一冊浪九下

法よりく二人と多合九角  
と後とさとし半角よりけ  
四角。五角と後二人多合  
四角と後と半五角よりけ  
百八十角と後言合五音十  
五角のよきと 別よりく九  
角より四角と列後よりけ  
とわ法よりと訓の二より  
後後より百指七角と後け

八拾人多る一人は浪百八拾五女下  
言云 亦一人は多る一人は百六百日

惣巻浪目拾五女自

法よりく二人と多合九角  
と後とさとし半角よりけ  
四角。五角と後二人多合  
四角と後と半五角よりけ  
百八十角と後言合五音十  
五角のよきと 別よりく九  
角より四角と列後よりけ  
とわ法よりと訓の二より  
後後より百指七角と後け

法よりく二人と多合九角  
と後とさとし半角よりけ  
四角。五角と後二人多合  
四角と後と半五角よりけ  
百八十角と後言合五音十  
五角のよきと 別よりく九  
角より四角と列後よりけ  
とわ法よりと訓の二より  
後後より百指七角と後け

百貳拾間四角の地柱より惣巻より幅二回  
法よりく二人と多合九角  
と後とさとし半角よりけ  
四角。五角と後二人多合  
四角と後と半五角よりけ  
百八十角と後言合五音十  
五角のよきと 別よりく九  
角より四角と列後よりけ  
とわ法よりと訓の二より  
後後より百指七角と後け





二間と別二千百歩と  
是と別と幅と  
合九千六百歩と  
右と別七千百歩と  
左と別と幅と長し  
四の幅と別四十間と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別八十歩  
左の幅と別十二歩  
右七も左と二と別六  
歩と八七七と  
止又二方の理  
四歩十三歩と  
七歩と

百歩拾間四方と  
と別と幅と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と

幅拾間  
中の方 百拾六間

法云百歩拾間と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と

開平法式

自乗号

- 〇一一一。二二四。三三九
- 〇四四十六。五五廿五。六六三十六
- 〇七七四十九。八八六十四。九九八十一

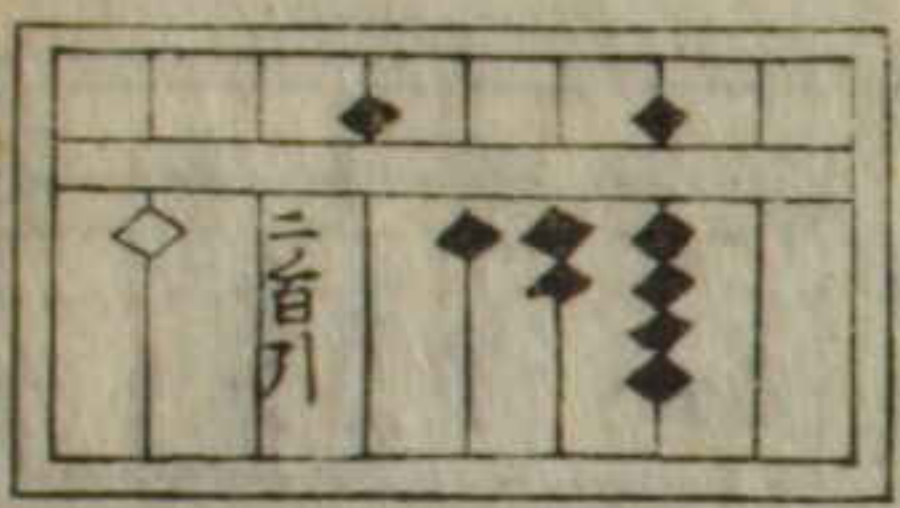
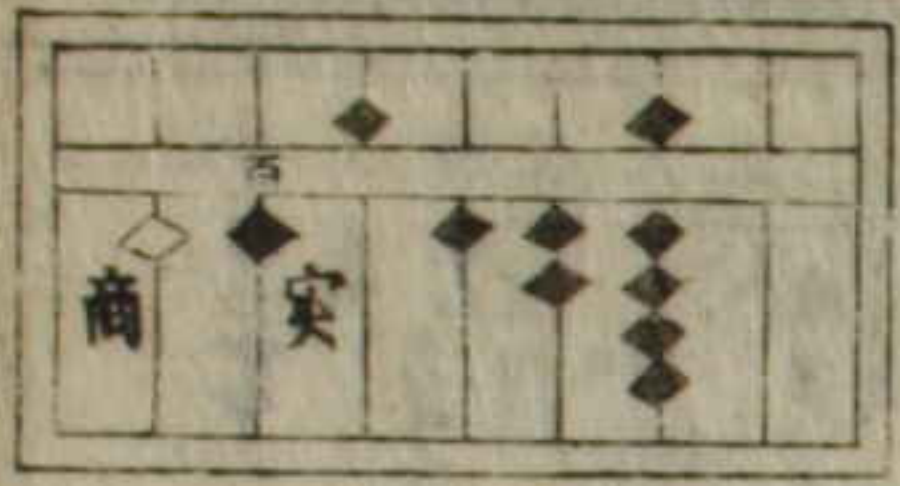
四歩六の  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と  
右半後用平法除  
右六十六歩と  
中の幅と別四十間と

用平の考へ引く九の位の  
位を考へ六見高と倍  
見と別又見たりと  
自圓の引り

存すも今又思ひ  
術と毎尺存すも  
百五拾を分九を  
実と虚の二つあり  
之自圓の百あり引  
扱一尺と倍一尺と一柄別  
本一高二寸と倍二寸と自  
圓の考へ二二の四あり引  
又二寸と倍二尺等あり  
之と一柄別三寸も二分  
と倍二寸と自圓の考へ

三三の九を引掛り  
仕かゝる一見一の別  
事と今分の二と  
二倍二尺等あり  
二二の四あり引  
二二の四あり引

右の算盤の圖を記



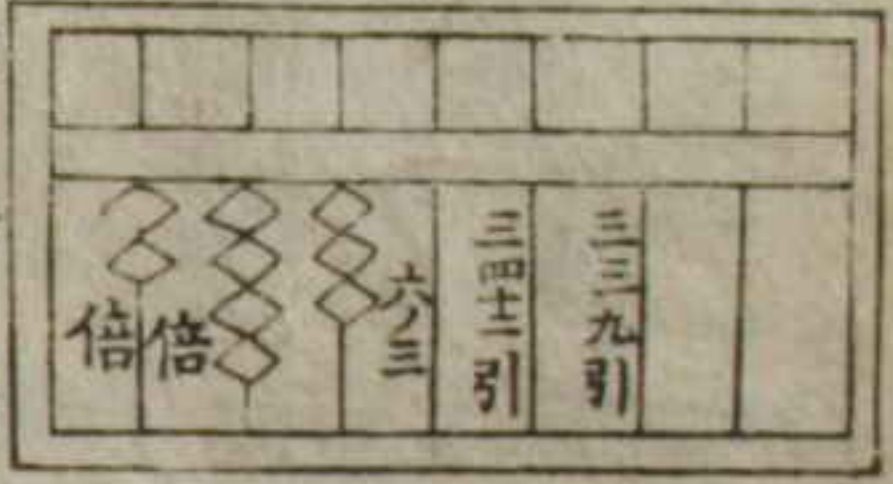
曾圓是也二

一位 數号	十位 數号
埃沙微糸厘一百万兆行穰澗載	塵纖忽毛分十十億京坡溝正極

寸あり百五拾を分九を有  
法中して方人何程  
吾云方人  
術と云を百五拾を分九を  
位と見ると一位の商と  
都合して一と一と一と  
引掛りて拾を分九を  
あるとす

二尺と倍二尺今分の二と  
成り見ると一の商と九  
置あり二二の四あり引  
九を引ると二二の四あり  
一二の商と二尺と二尺  
と倍二尺今分の二と二  
三分と倍二尺今分の二と  
二二の四あり引二二の  
引二二の九を引掛りて  
方の尺あり

二



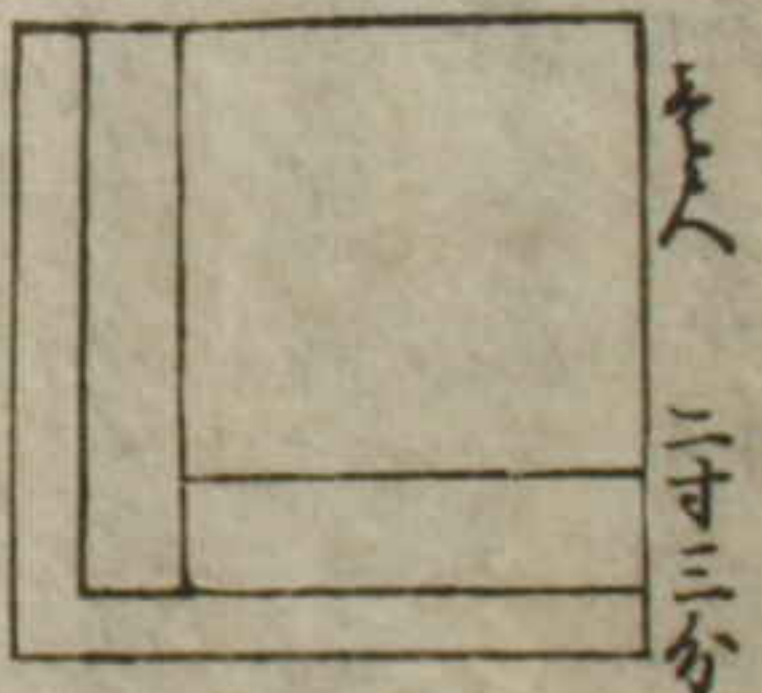
又用平并本之術者二階三平  
十六横并并併て百千万并併之  
商實法廉  
三三三倍後表  
あハ亦並  
後百廿一廿二  
九三三三三三  
あハ下ら并  
と並名付と廉  
と三三三三三

考よて百歩之下、送る相  
法二尺一置ても三今之自因

商實法廉	三	二	三	三	三	三
商實法廉	一	二	一	一	一	一

百歩実減  
止余三  
卒廿二  
九有り板  
法と倍  
二尺これと  
一行下て  
廉二行下  
商二寸と  
法七寸と加  
二尺寸是と  
今五商と  
乘三十四城

曾謂是少二



二寸三分  
二寸  
は圖一七

又云くやい敷すあし付いそ尺二寸三分間  
あし付い指式間三分之入き方寸百或拾  
九歩り付い百廿三寸四寸と知下  
寸歩千五百拾式歩九分十位用車法  
の尺較と同  
吾言二二尺八寸八分九厘六毛不盡  
御云石月法之尺以の尺三三三三三

尺較もあしお遠有之との之  
今紙六尺横三尺の板ははあ較と一倍  
右紙二尺又三尺と併付形紙一紙何紙七  
横何紙と台

紙八尺等八分六厘三毛八系  
横四尺二寸四分二厘六毛四系  
不盡をもちて不六厘六微。八分  
御云六尺と二尺と都合千八百歩  
一倍メ二千六百歩之是と二尺と色六尺と  
割千八百歩之是と用車法除換く  
尺と紙も六尺と色三尺と割紙の八系

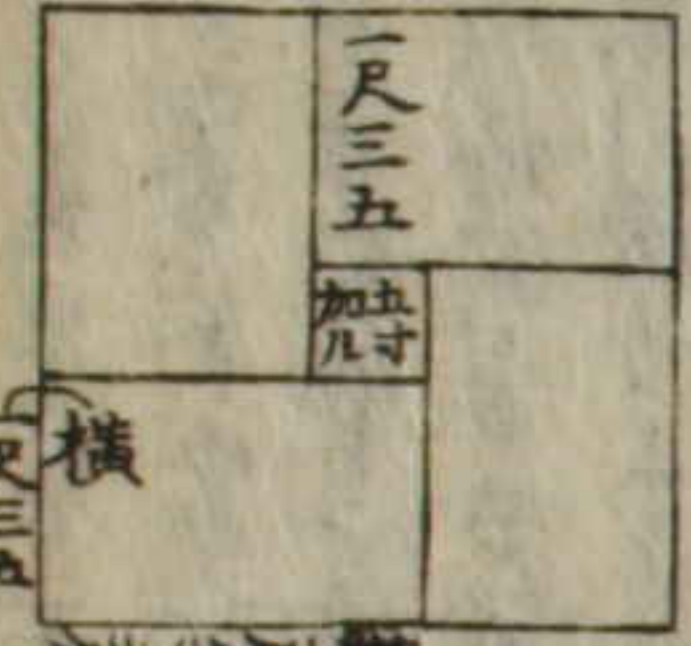
商實法廡

	商	實	法	廡
三	三	三	三	三
二	二	二	二	二
一	一	一	一	一

又三二五三  
 七九七九  
 九七九有り  
 又今二寸倍  
 二尺四寸感て  
 一行下り  
 分之法も三分加て二尺四寸三  
 分と成廉の二行有り又今分を  
 三分法と乗二二二六三感三三  
 一歩二分減三三三九を感高一尺  
 二寸三分者方面之

帯後同平之異物有り  
 定之凡尺後今平  
 式百四拾九寸七分を帯と後換

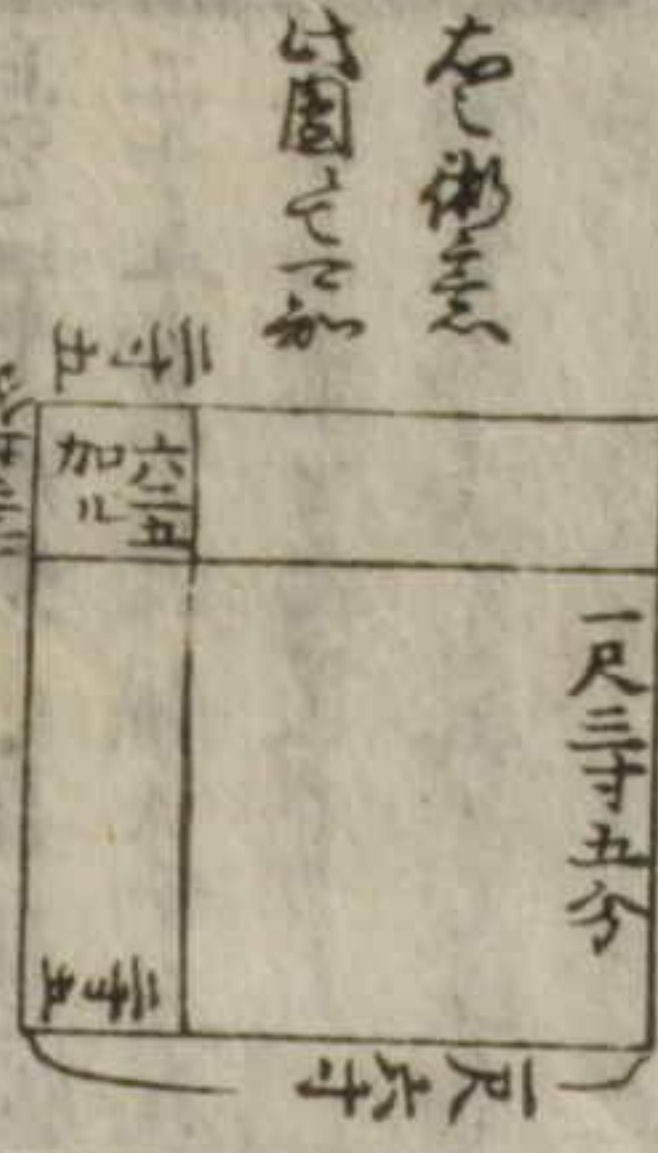
之差五寸ノ如左  
 積ノ四尺倍ノ九百九拾  
 歩一帯後守ノ目因  
 二十五歩と加一供二千  
 二十四歩とる又帯ノ  
 同平法條と得三尺二寸と  
 比内ノ左守門内より二尺  
 七寸と二尺ノ別換一尺二寸五  
 分と初之後換分先初  
 右三尺二寸と左守加三人  
 七寸と感と  
 二尺別て  
 後ノ目  
 右ノ物  
 以圖そ  
 一尺三五  
 加九寸  
 横  
 尺三五



入別法ニ多く五尺六寸と五人合是と一倍ノ  
 同平法から除る彼の人  
 又換分先  
 一倍ノ同平法に除る換分先  
 右ノ外  
 又多く  
 右ノ外  
 入二百六拾八寸  
 四間余  
 寸歩式百四拾九寸七分を帯と有是と後換り  
 換と五寸換く  
 帯後同平之異物有り  
 定之凡尺後今平  
 式百四拾九寸七分を帯と後換

帯後同平之異物有り  
 定之凡尺後今平  
 式百四拾九寸七分を帯と後換  
 換と五寸換く  
 帯後同平之異物有り  
 定之凡尺後今平  
 式百四拾九寸七分を帯と後換

又別術と云く是守を二十  
五分と自圓メ六寸二分五分と  
後加付二百六十六と帯  
一周年に漆得一尺守は首の  
五半二寸容は内より五寸八  
三寸五分八横なり  
又云く一尺守を二十五分と加一  
倍二尺八寸五分八横なり



右の術を引くと一尺  
守を五尺八寸五分八横なり

開之者初より伏考て深  
尺五寸の女代九枚を  
尺五寸より廉湯引り  
匠よりまをれりりりり  
よのこより見一の刻と  
とりて流人の丸わつら  
仕りく刻をさすやと  
おけさぬくの匠より  
尺五寸の周年にやう  
成る一候予う教  
年得るる術と  
また記ゆりぬ物て  
中後の方ハワく  
竹人予うに身中ハ  
いつとも仕得る

開立法式

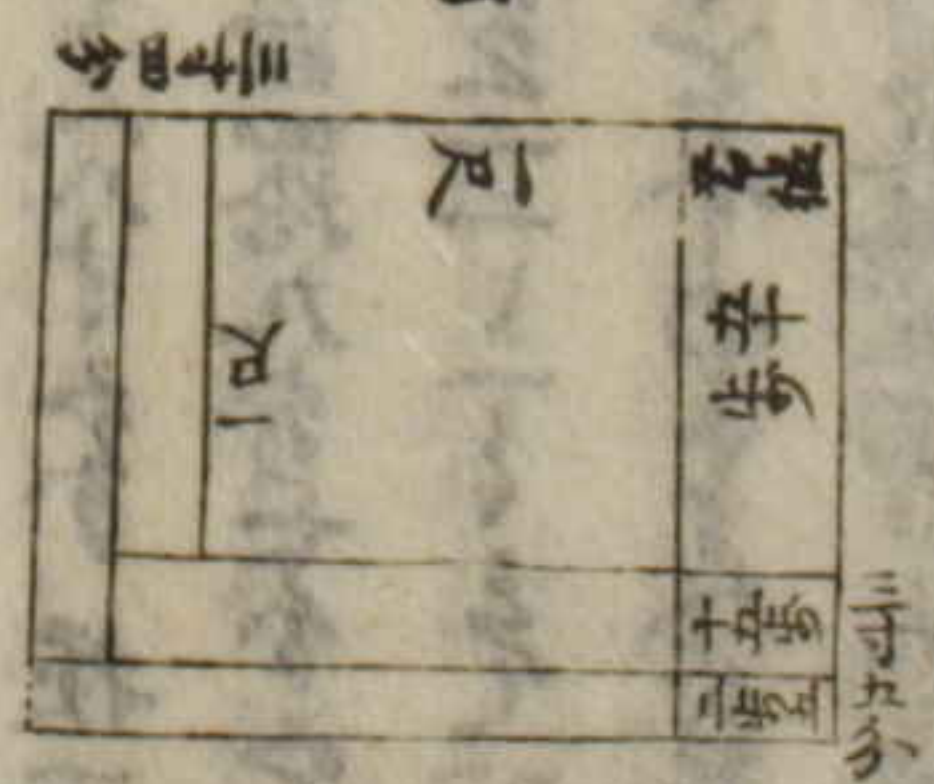
再自乗号

- 。一一一。二二八。三三二。二十七
- 。四六四。五五五。六六二。百十六
- 。七七三。百四十三。八八五。百十二。九七。百十九

ふとくるあ式万四千九百七拾六あは縦八  
五拾五横くして  
吾云 縦百八拾六間 横百三拾六間  
ふとくるあ式万四千九百七拾六あは縦八  
五拾五横くして  
吾云 縦三百五拾間 横百七拾六間  
術ハ何れも七日後に成りぬる事ハ是なり

あき人二寸と一倍メ今の寸と加一  
六寸五分と成る事と云ふ事と九九  
二五の十あは五六の二あは五五の二あは  
五尺又半縦守と今云ふ五分五五  
の二あは五尺横である別換の尺は是  
半後の寸と加倍する事なり

右の術を



右の術を  
引くと一尺  
守を五尺八寸五分八横なり

凡やがし七海にわたり  
もくもくやけつりつ坊  
たに沈しん

本千もく後千八百六拾坪  
。八分六厘七毛と定る重  
別定ぬのみ一人とん之  
て重再自固して千坪以  
定る八百六拾坪。八分七毛  
以て後とん之る。自固  
二二圖ノ二百あり。必七  
一柄刻を二寸と考へ  
板厚とし二寸と重け柄  
敷板として今し二寸と自固  
メあり一人二寸と二圖一  
の一人と重法二六四必七

して重と一柄刻二とも  
二十と極る定る百廿二坪八  
六七あり。あつてん之る  
右く法二六四と一柄刻の  
して五分と考へし法ハ  
板厚ありて法二八二寸と  
と重二柄として五分と  
自固メあり二二三二圖一  
一三ともと兼し法二八  
九と必七と重と別あり  
凡ハ初以て一人八寸と  
分してあり  
右く柄も別あり方ハ  
重法考の者として凡  
法よりたれあり

一位之 數号	十位之 數号	百位之 數号
塵微毫一千兆坡洞極	沙忽厘十萬京穰正	埃纖糸分百億行溝載

寸坪千八百六拾坪。八分六厘七毛  
一住用之法。用方尺何れと台

吾云方を一人二寸五分

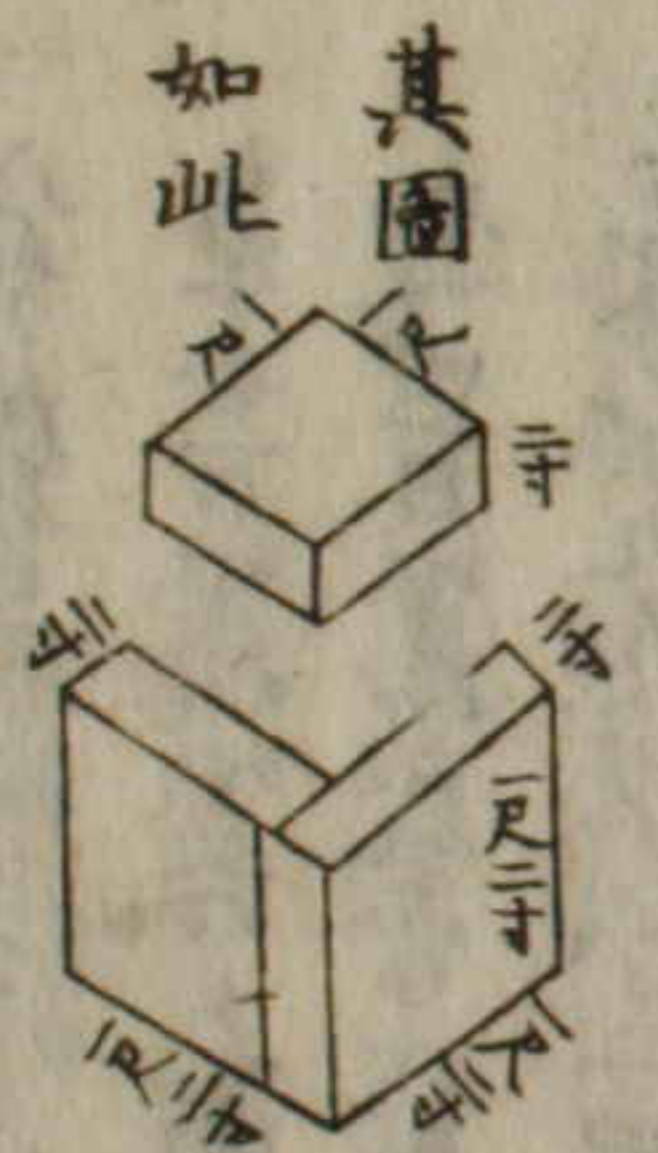
測るる重千八百六拾坪。八分六厘七毛と  
置もとん之る。必七毛合千坪以  
測る八百六拾坪。八分六厘七毛と重

其圖也  
一三とも一人二寸と重



是之初も一人と加式八二寸と必七毛  
一二の高と一人二寸と重法百六拾坪あり  
成入別も初も一人と重合百あり。必七  
と右く考へし二六四あり。是今も  
二寸と九九あり。びて二二の六百坪二六  
百六拾坪二四八坪あり

其圖  
如此  
法は一人二寸五分と重  
六厘七毛定る  
この重五分と重  
法は一人二寸五分と重  
是二二とも一人二寸と加二人四寸五分

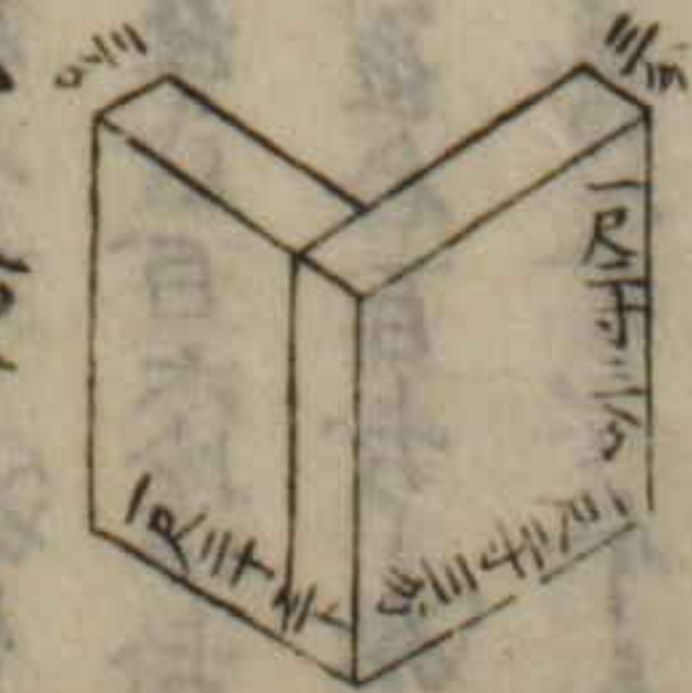


商實法廉隅


商實法廉隅


算術之  
術曰  
積千八百  
六十淨。八  
六七と盡  
持て下隅  
舟と兼と  
重十百位  
と考へ千  
下とる  
千とる  
ととる  
偶と兼  
偶一人と

かりり是こそ人二寸五分と色二百九拾八  
八分九厘と或ふ別一二の高き人二寸と  
色合百四拾四寸と或は休たて有板と  
加へ四百四拾八寸八分九厘と是こそ今  
五分と九九とび二四の百八拾拾寸又  
三四と拾八寸二二の六分二八  
二分四厘二九の或屋七と引掛も  
板別方人やり  
主圖せ  
心し好る俵と付八位と依て拾二寸九




商實法廉隅


商實法廉隅

毛と兼  
身は直又  
は廉との  
も一人と  
兼得百  
寄と兼  
吃と兼  
あ天兼  
得子兼  
夜実減  
之上余八  
百六十俵。  
八六七実  
寄と兼  
入湯と兼

知れ一は不用平之をたも之有  
紙全見一たり如る初は成人園  
法人も位と遠く共人一と刻  
とらん自けた人下法は執り  
方と千の門身と使て必要ならん  
寸俵を方八千六百。八俵六分七厘を千  
位用之る用方人板と台  
言と式人六寸四分九厘九毛五厘  
小畫分八七三系六厘六分二五二五  
心し好る俵と付八位と依て是は余と  
二百六拾四間余と知れ也

商實法廣隅

	一	二					
		一	三	二	三	丁	一
			三	二			
				三	上		
					一		

商實法廣隅

一	二	三					
		三	三	二	三		
			三	上	三		
					一		

乘廉加  
得二天又  
以廉之也  
乘法如  
之廣之也  
因廉加  
其時法  
三百零  
三又偶一  
也板法  
一行下  
二行下  
三行下  
又二商

寸許之億八万六千。八拾六許七分百億  
用之法。用方尺何板之台

音云 九万七千九百七十九

不查四万七千七百七十九

右同法一億十位百位之

今口守九分四角法寸七分十分有  
是相懸之。其并合字入之。仍之。凡  
口の方何板何板之何板之台

音云

口守七分七厘八毫二末六五  
口守五分。八毫四末六五二

法之守九分と云方も合百拾七許五分

考二寸と重湯と今

二寸と乘廉加三二寸と  
成る二廉と今も九  
九の許と二三と十と二  
二と四と法。加三音中  
四と成る是ともも

相應関立法

二寸と九九と許と二三と音  
律減二六。百律減二四  
八律減而止。余百二十二律  
八六七と上。有て入湯二とも  
二寸と乘廉加三二寸と  
減是二とも二寸と九  
律二と一と六十と二四と八  
法。加之湯と二とも四  
廉。加て見つ時法。四百

音調是少二

四厘九毫と減是二を并合之と  
用之法。之除之口の寸と減是二と七  
分と息守九分と別法と之

口式寸四分五分

口式寸四分五分  
口式寸四分五分

口式寸四分五分

口式寸四分五分  
口式寸四分五分

口式寸四分五分

口式寸四分五分  
口式寸四分五分

右一億十位百位と書違ふ人寸違ふ也  
今も七と六と八板五尺式寸五分八寸六





三十二歩原ハ二尺守隅一也  
扱法と一行り原ハ二行ト  
隅ハ三行り扱三ハも三歩  
見立隅二因て原ハ四二尺  
六寸三分ノ減は二今ハ二寸分  
と九九と行て三三ハ九九歩  
三六ハ一歩ハ分三三ハ九九歩  
加る法四百四十二歩ハ分九  
歩と今ハも二寸分ハ九九歩  
行三四ハ百二十歩減一  
三四ハ十二歩減二と六分  
減一ハ八ハ二分四を減一三  
九ハ一歩七毛減拂ハ  
外道ハ六歩外ハ十歩見  
二尺と二十歩ハ見能合ハ

平扱ハハ坪扱の八倍トセハ平扱ハ五メ  
行りハ長幅原何程凡ハト台  
言ハ長二尺二寸幅一丈。守原二尺六寸  
扱ハ長五丈六尺ハ二尺原合長ハ八  
色用之法ハ除長の人ハ扱ハ長ハ  
平扱ハ幅ト長ハ平扱ハ長ハ別  
今の平扱ハ幅ハ長ハ今の平扱ハ長  
ハ長ハ平扱ハ長トハ長ハ平扱ハ長  
ハ別今ハ平扱ハ長ハ別  
寸坪扱ハ四尺百六拾四坪有量ト縦横  
日尺ハ長ハ八丈八寸トハ縦横ハ二間

三歩外ハ五歩トモ其  
後ハ直ハ二十四歩ハ  
坪ハ長ハ常ハ用之ハ  
除得ハ長ハもハ外  
外ハ口守九歩トモ  
新外ハ口の守ハ  
除ハ口守ハ九歩トモ  
因ハ其ハ其ハ其ハ  
五歩外ハ合ハ五歩トモ  
扱ハハ用之ハ除得ハ  
七二ハ七ハ二ハ一のハ  
ト今ハ口の守ハ  
井の深ハト今ハ  
五歩外ハ口守ハ  
見用之ハ除得ハ五ハ五ハ

帯 縦 開 法

言ハ 縦横二尺守 今二尺九寸  
扱ハ長ハ五丈六尺ハ四尺百六拾四坪ハ  
高ハ二尺ハ二二ハ八千坪ハ又ハ帯縦の  
ハ今ハ今ハ二尺ト長ハ合ハ五丈ハ  
減ハ二丈ハ帯縦ハ五丈ハ九丈ハ  
一四ハ四千坪ハハ五ハ二丈ハ  
其圖ハ  
  
  
横ハ八千四百六拾四坪ハハハハハハ  
トハ初ハハ高ハ二尺守ハハ初ハ二尺

曾 嗣 是 女 二

一六

口の方以是今し口のすく  
又あるは升の海と海深と如  
そ斗式升の合とそ方二  
千五百坪見用之除得式  
三二〇七九とそ升の合は守  
とけ今の口のすく海との  
すく今今しゆと也  
何程しれは是れとそ海  
の心は月名し手程長柄  
桶す切しはの水船櫃  
船の心及し金程心  
船の約物多しれとそ  
お魚し好れ通てさる也  
坪とそ海の倍とそ海  
ふ何程しと海坪とそ

と加し人守とそ是は初はとそ二尺  
守とそ是千〇六十六歩とそ又初ありけ  
合皆ありとそ是は初はとそ千〇五拾六歩と  
加し千四百六拾六歩とそ是は今より守  
と九九とそ一四とそ四千坪川四四の歩六  
百坪川四五とそ式百坪川四六の歩四坪  
川又帯紙の歩とそ六初はの歩式尺  
守と初ありとそ加し人守とそ是は  
今より守とそ是百七拾六歩とそ是は帯  
紙とそ人守と九九とそびて百とそ初とそ  
二とそ千坪川五の歩百坪川七拾とそ初とそ

好は牙をく通てお考く  
たとへ何とそも坪とそ海  
直と好付はわおし一方は  
再自固メ倍くわ美用  
之は除く六相直し其  
正とわし又海坪とそ相  
直と化直し好付はとの  
海坪とそわおし一方は  
再自固メ乗るは美用  
又わおし海坪とそ除其  
海とわおし再美用  
之は除くわおし其は  
之卯形とそ海坪とそ  
とそ可試りり  
帯紙用之は別物とそ

其圖如此

一七の七百坪川五七とそ三百拾坪川六歩  
し初とそ二六とそ六坪川五六の三坪引北  
右と好付坪と付は位中しめて式拾四回  
小三拾九間九二百拾るよ三百九拾間  
九知得るしは外相直帯紙と初とそ  
とそ道有妻は口他く  
紙令米とそと年し好れとそ年打書とそ  
和利とそ六とそと初時年何よりり

本言く積二万二千四百六  
 十四降之美と重なる上と  
 初之位と考へる二天と  
 再自因メ八千降減メ又  
 商自因メ帯後一尺守と  
 乘六千降減メ減之  
 止余八千四百六十四降美  
 有扱法を初も二天と  
 重と定之と乘六尺是  
 帯後倍之三天加九人と  
 減是れも二尺と乘七千  
 八百守と減是れて美と  
 一初除公メ初も守と  
 尺五扱今し法千八百守  
 と扱是れり初は初也

商二尺四寸と五折校  
 多今し守と自因  
 上し二尺守と定之因  
 又初商二尺と乘千四  
 百五十六守と扱初も  
 二尺四寸 初も二尺と加  
 尺八寸と扱是れ帯  
 後一尺五寸と乘六百六  
 十守と扱是れ帯後  
 加は法二千百十六守と扱  
 是れ帯後て美と除定  
 二とも守と知り  
 六石六年六拾石と  
 有是れ乘六石と六年倍  
 五利六石と扱之候之

和利乘實蹄除之高次第

利是し商の候と  
 答云 外式和利と商  
 初云本利とん六石と重なる  
 別ハ二と扱は内ハ本二利是と  
 根合乘五石と式年々々本利と小  
 七石式斗とて何何刻と商と  
 答云 右日也  
 初云本利とん七石式斗と重なる  
 右利ハ一石半昇と扱是れ内用之除  
 根合五石と三年々々本利とん六石  
 昇何何刻と商と  
 答云 右日也  
 初云本利とん八石六斗昇と重なる  
 右石と利ハ一七二八と扱是れ内用之除  
 根合五石と四年々々本利とん六石  
 何何刻と商と  
 答云 右日也  
 初云本利とん拾石三斗六升八合と重  
 右石と利ハ二〇七三六と扱是れ内用之  
 法ハ七二度除り  
 根合五石と六年々々拾石四斗昇八合  
 何何刻と商と

答云 右日也  
 初云本利とん八石六斗昇と重なる  
 右石と利ハ一七二八と扱是れ内用之除  
 根合五石と四年々々本利とん六石  
 何何刻と商と  
 答云 右日也  
 初云本利とん拾石三斗六升八合と重  
 右石と利ハ二〇七三六と扱是れ内用之  
 法ハ七二度除り  
 根合五石と六年々々拾石四斗昇八合  
 何何刻と商と

はわ判と旨

旨云四割五分より〇四六八一  
御云六拾名と六名と割十  
位と用平と除又其上と一  
位と用平と除一四七二〇四  
六八一と減は内えし分の  
一と引減と和判く知く  
車傍りしてたふ今ま  
拾あと五年う一毎年  
え判とも三返元して  
都合拾のぬし各併と  
何判くぬらと旨

旨云一割五分より二七九  
御云十帯紙用平と  
帯の用えく二乗四乗

は四式と若て得商八六  
七七七とらうて元元の一  
と除得二五二七九は  
内以の元えく今ま引と  
海と旨と合なり

三乗し法の事をすまふ  
累又用平とあな月一  
と紅紙地る今ま元子か  
用らぬと糸盤の御と  
可ふ判をすましく通り  
なと元五名と四年倍  
拾名〇二年六年八合を  
何判く判是よ高と旨  
旨云外二割と高と旨  
御云十名〇二年六年八合

自開疑抄二

旨云 右月お

御云本判くは拾式石年半年合  
六名と重名と割六四八二二減と  
実と重商と一と減法と一とや及りけ  
合は元元とを引減て一四八八三二と  
有て商二と減法と初あと二及重  
合一と減別と又初元のあは一二と重  
初あとと倍と二二と減は二二とあと  
是四四と減と名は二重四りり  
是元元と引減て一〇四八二二有及初  
はくあと二二と重二初なりてはと旨

二とけ合加して二二〇〇や減は四二二  
斗二と重二六〇や減は内二六とらりよ  
初商と一とけ三六や減別と初元  
の商の二と重合一四四と減ととと  
三六四とけて五二四一六と減初今号  
二と九九と一八二五の十引二二と四引  
一二と一引二六の十二引掛てあとと知く  
減合五名と六車う拾名九斗式并九合  
九斗二才あり何判く高と旨

旨云 右月お  
御云本判くは拾式石年半年合

七

五石を除得二〇七三六の  
 言之時として析商一と  
 三乗メ以上と減止余一  
 〇七三六夫より別之法  
 一と自因メ四以乘以之夫  
 と一析除く知メ法も二と  
 又之扱法を破算メ又  
 別と初法を商一と一と  
 二析下ては二倍り自  
 因て二二〇四の破内  
 上し一二倍り一三と乘  
 入るれ初も一と乘メ  
 三六四の破り是又初  
 も一二と因一四三六八と  
 又別と初も一と再自因メ

一也是法を右加て得五  
 六八の破り法之を除  
 定こも二一初  
 四乗し初拾石中斗中并  
 五合六分と五石を除得二四  
 八八三二の言之時として初  
 商一と五甲乘メ得一夫  
 より減之 上余一四八八三  
 言の別法を自因メ  
 五と乘一初之を二初  
 除く初も一と初  
 扱法を破算メ又別と初  
 も二と一と二析下り  
 一と自因メ二〇四の  
 内二一と定三と乘入初も

式方と重五石を別二九八五九八四の  
 是法用年とそを除と又用之と  
 そを除と商と一初  
 縦合五石と七乗一拾七石九斗五升  
 五合九分。此れ初何別と商と一初  
 五石と一初  
 初と重五石を別二九八五九八四の  
 是法用年とそを除と又用之と  
 そを除と商と一初  
 縦合五石と七乗一拾七石九斗五升  
 五合九分。此れ初何別と商と一初  
 五石と一初

三度掛合て一初又初も一と  
 二初りて一初も一と重合二〇四の  
 是法用年とそを除と又用之と  
 そを除と商と一初  
 縦合五石と七乗一拾七石九斗五升  
 五合九分。此れ初何別と商と一初  
 五石と一初

曾問定少二

三

一と粟一三六ヤ入を  
初は二と二度粟を  
得五三四六別と初もと  
倍メは二と加二二一  
是初も再自因メ粟一  
二二二と入を五二四二六  
加て代七四二六と入を  
二と除定ひ二二二と  
五粟と初之奉書も  
開年一開之除く二四  
代も予見二と初と  
た二ハ書二二二と  
六石と六奉一拾四石  
九斗二升九合九勺二と  
一何刻と南と二向

初云拾四石九斗九合九  
勺二と五石と二九八九  
八四と初ハ書二二二と  
高一と五粟と二二二と  
減止余一九八九八四と  
有別と二一自因メ六と因  
初之二折除ひ二と二と  
見之取法と破も亦別と  
初ハ書二二二と二折と  
今二と自因メ初も二と  
上二二と二と粟三六四と  
二と二と二と粟三六四と  
成是初ハ書二二二と二  
度粟一六二八九二と初  
別と二と二と二と二と

曹開疑抄二

六八と初列と初ハ書二二二と二度  
合二七二八と初是と五三六八と  
九二七五九と初ハ書二二二と九九  
二と二九と拾八二二と四二七と十四  
二二五と十二九と十八と合初と二四  
八二と初ハ書二二二と  
初令五石と八奉一と二拾石七斗九升  
九合。八斗四升八合初ハ書二二二と  
初云初ハ書二二二と初ハ書二二二と  
八斗四升八合初ハ書二二二と初ハ書二二二と

九六と初ハ書二二二と二度除とも  
と初ハ書二二二と  
初令五石と九奉一と五石七斗九升八合  
九勺。初ハ書二二二と初ハ書二二二と  
初云初ハ書二二二と初ハ書二二二と  
初ハ書二二二と初ハ書二二二と  
初令五石と拾奉一と三拾石。九斗九升  
八合初ハ書二二二と初ハ書二二二と

是上初も一三三三三三三  
 三六四七五八六九  
 八九九二、加て九九九二九九  
 二二四の法之字を除て  
 定法之も二二四なり  
 石ノ外六乗分をを暗人

何刻よきありて台

善云 右日あり

測之云本利ナリ三拾石。九斗容八人台  
 宿八分二れ一重一重木抄二重重名  
 刻六九一七二六四二三四二八八  
 同年そ除け八二四八八三二一  
 五年一重一重木抄二重重名  
 五年一重一重木抄二重重名

此はく並物一八三三三三三  
 併活書く並八如なり也

二	七	六
九	五	一
四	三	八

方曜直

是れ二と乗之二十七四  
 七と並入は七三二と乗二十一  
 四と二と並之偶八法教  
 二と自乘ノ四以並是二  
 と自乘八と並是二と乗  
 十と内六と並之六中央  
 石層書く教と學で瘡と  
 瘡ノ中らるひなりなり  
 たりと六瘡五振目と府

三三九曜之直

八	三	四
一	五	九
六	七	二

如此たり九正書中典

番書之重合年の中  
 彼撰も角分角了  
 十五元中ぶ也

四四十六曜之直

十三	十二	六	三
一	十	八	五
四	七	九	十四
十六	五	十二	二

如此あり十正書中典

番書之重合年の中  
 三十六也彼撰も  
 角より角了も三拾  
 四五元中ぶり

右ノ教トヤ本ノ七  
入ハノ教トヤ成ルモ  
九ノ教トヤ引テ何モ  
一ノ教トヤ加テ入ルモ  
如クモ及メ教トヤ入ル  
教トヤ一火居テ其  
痛人ノ精進トヤ言  
君ノ如ク痛ハテ  
五ノ教トヤ通ルモ  
事ノ如ク入ルモ  
可用之也

十六	二	三	三
九	七	六	三
四	十	五	一

並カハ  
の他  
也

五五 二十 五五 之直  
六六 三十 六六 之直

二	七	七	二
三	六	七	三
二	三	七	三
五	七	三	六
三	七	一	六
二	三	六	七
五	七	六	三
三	六	七	二

如キ  
事  
五  
角  
六

三	六	三	六	三
二	三	六	三	二
五	六	三	六	五
三	六	三	六	三
十	六	三	六	十
九	六	三	六	九
七	六	三	六	七

六  
角  
七

十六	七	十三	十九	十
四	六	九	十二	三
五	十一	二	六	九
三	十四	七	八	三
五	十五	四	二十	一

五五  
物  
也

如キ  
事  
五  
角  
六

六六	直	一	六	十	三	九	七
初	六	六	六	六	六	六	六
合	七	七	七	七	七	七	七
合	七	七	七	七	七	七	七
合	七	七	七	七	七	七	七
合	七	七	七	七	七	七	七
合	七	七	七	七	七	七	七
合	七	七	七	七	七	七	七

七七

如キ  
事  
五  
角  
六

一	六	二	六	一	六	一	六	一	六
九	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇



七	一	四	七	十	九	之	直
一	四	七	十	九	之	直	
四	七	十	九	之	直		
七	十	九	之	直			
十	九	之	直				
九	之	直					
之	直						
直							

直之四十六八八

七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
七	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒

八八六十四曜之直 如秋万六十四正書之變  
 書書之合二千。八十之級之換之  
 角之角之七式百之拾九之...

九九之直之書書合分万之  
 如秋万六十四正書之變  
 四十一之成九九八十一之乘而  
 書書之合三千三百五之  
 如秋万六十四正書之變

九九八十一曜之直 一万八十一正書之變  
 書書之合三千三百二十有

十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒
十一	六	卒	卒	卒	卒	卒	卒

卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

番書(抄)教字。五十有  
方車(自)固(同) 若十自固  
御(之)字。卒(倍)万。有(之)美  
一(若)級(同)年(之)得(百)烟(之)又  
帝(同)年(之)十(自)固(之)何(以)以

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十

十自因百

六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

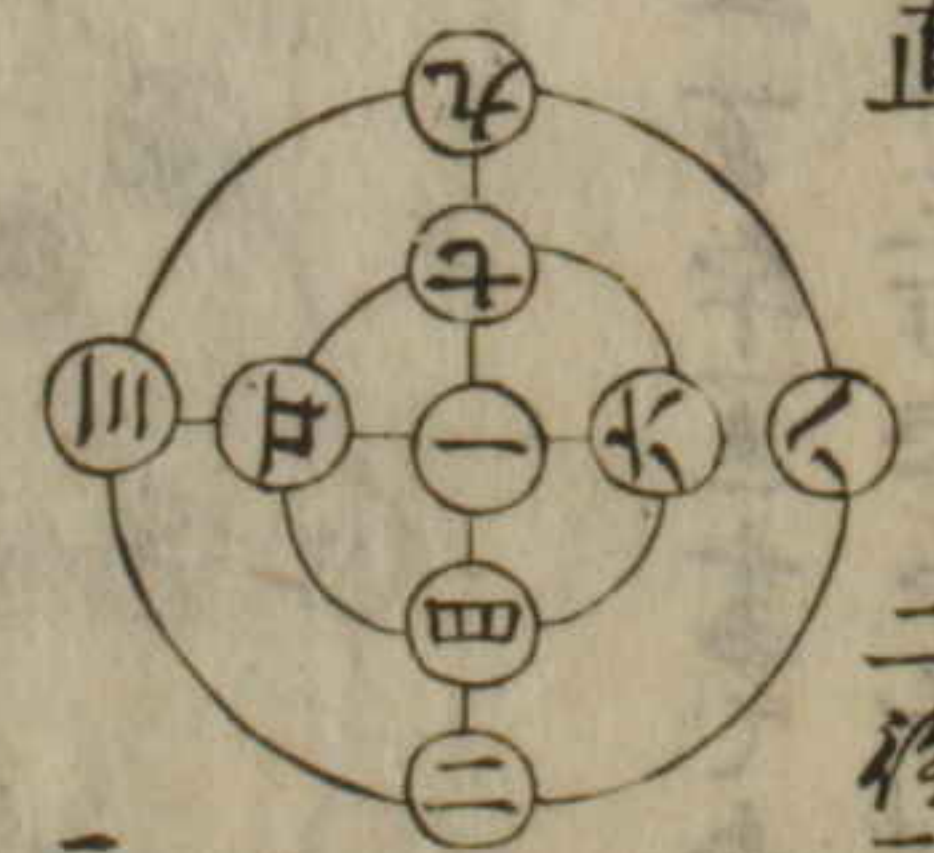
十自因百 直番書字。五十級換角

方車(一)方(之)並(教)五(百)五  
有(自)固(之)教(之)同

吾曰十自固(之)之  
御(之)五(百)五(之)倍(千)十(之)  
為(實)一(帶)級(之)用(之)法(之)  
除(而)知(之)他(一)帶(級)之(步)  
帶(級)之(可)知(得)也  
方(車)之(付)不(除)固(之)書(頭)  
車(之)之(法)作(意)之(何)  
極(之)成(惟)之(法)之(何)更  
方(車)之(輪)之(之)之(何)更  
並(之)教(之)內(在)之(固)教(化)  
十(之)級(令)六(六)之(方)車(之)輪(之)  
惟(之)之(各)百(十)之(之)之(各)  
百(十)之(之)八(八)者(各)二(百)之(之)之

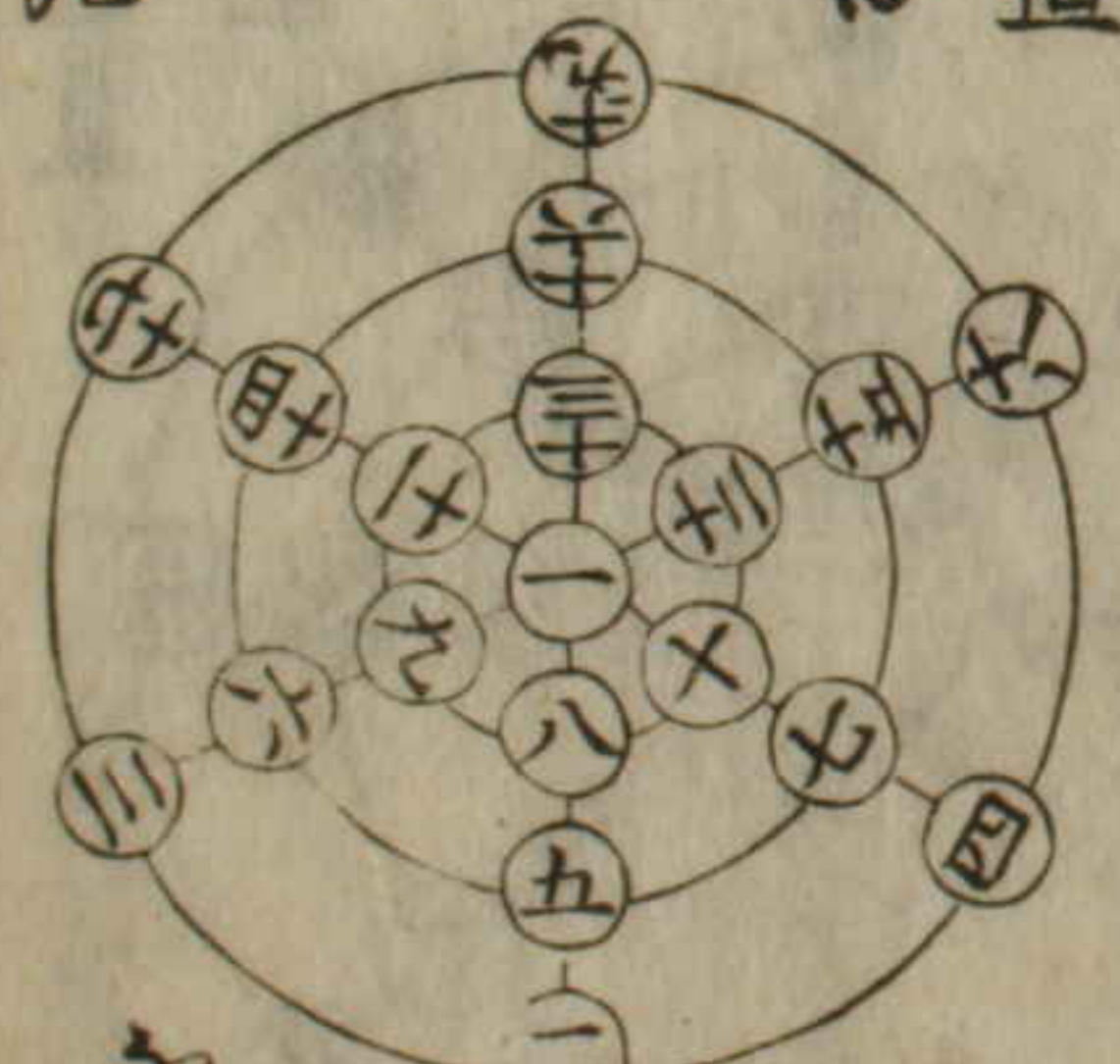
圓 直 曜

二迴四曜直  
一分九也  
番書合  
四拾五有

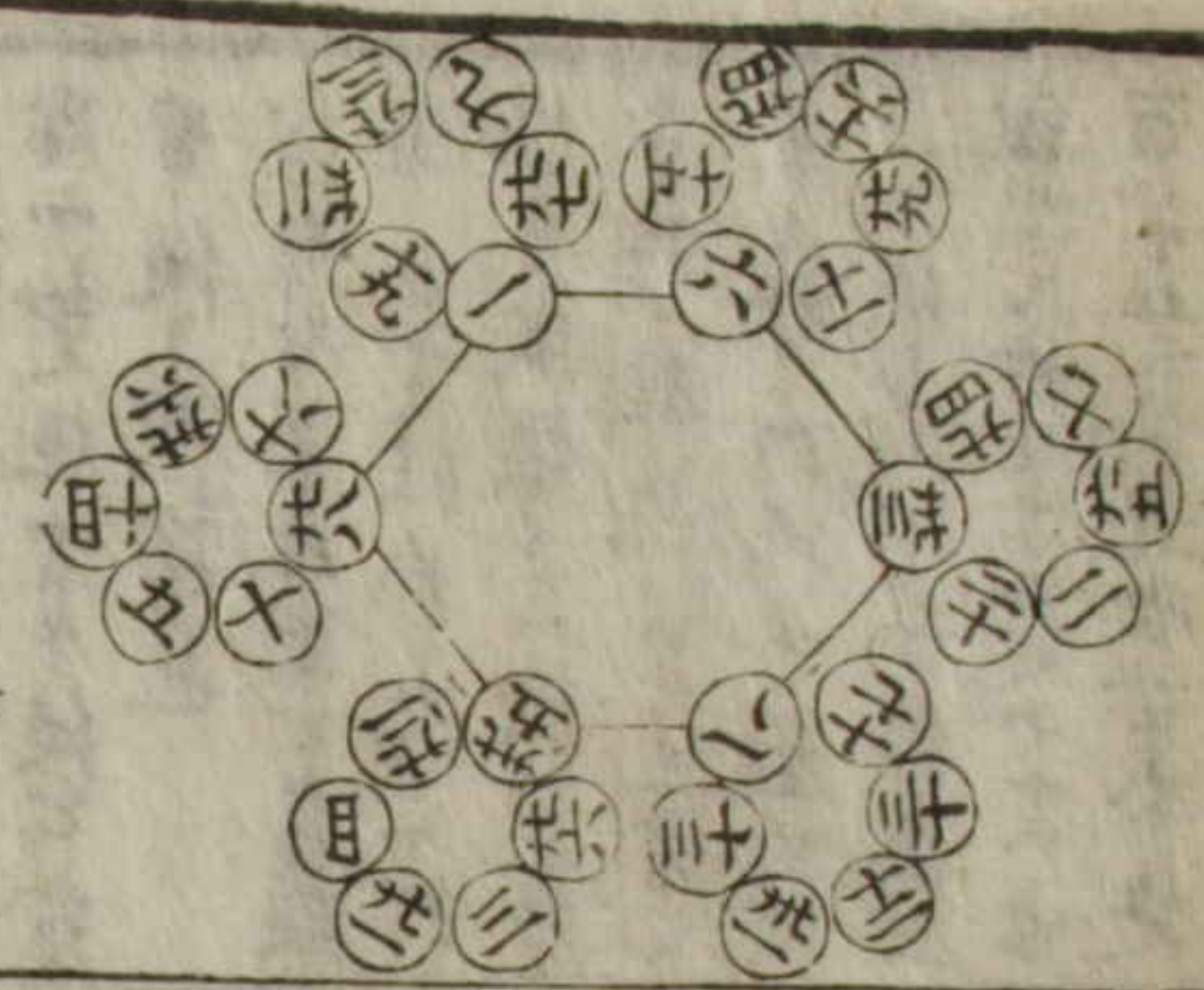


二徑二迴何也  
二十二元並  
中一加之  
何也也  
二十三元也

三迴六曜之直  
一分十九也番  
番書合  
百九拾也  
三徑三迴  
何也六十三元



中一之  
加一八  
何也  
六十四元  
中一之



右空三六之輪車之  
 一人所一廻名百十二元

七七四九曜之輪直

四廻八曜之直

一八三十三直

書書之合

五百六十一

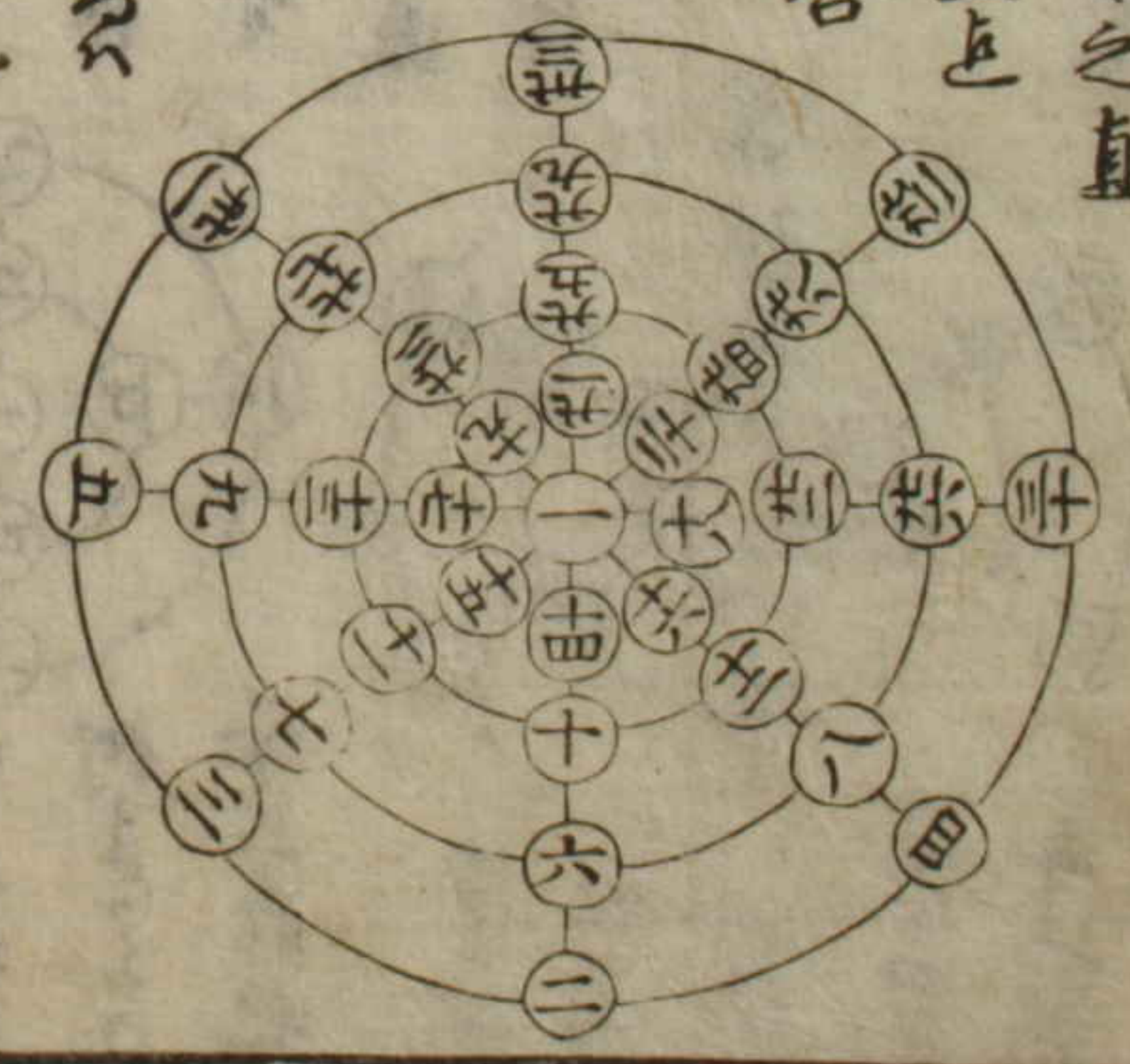
四徑四廻

何也

百路元

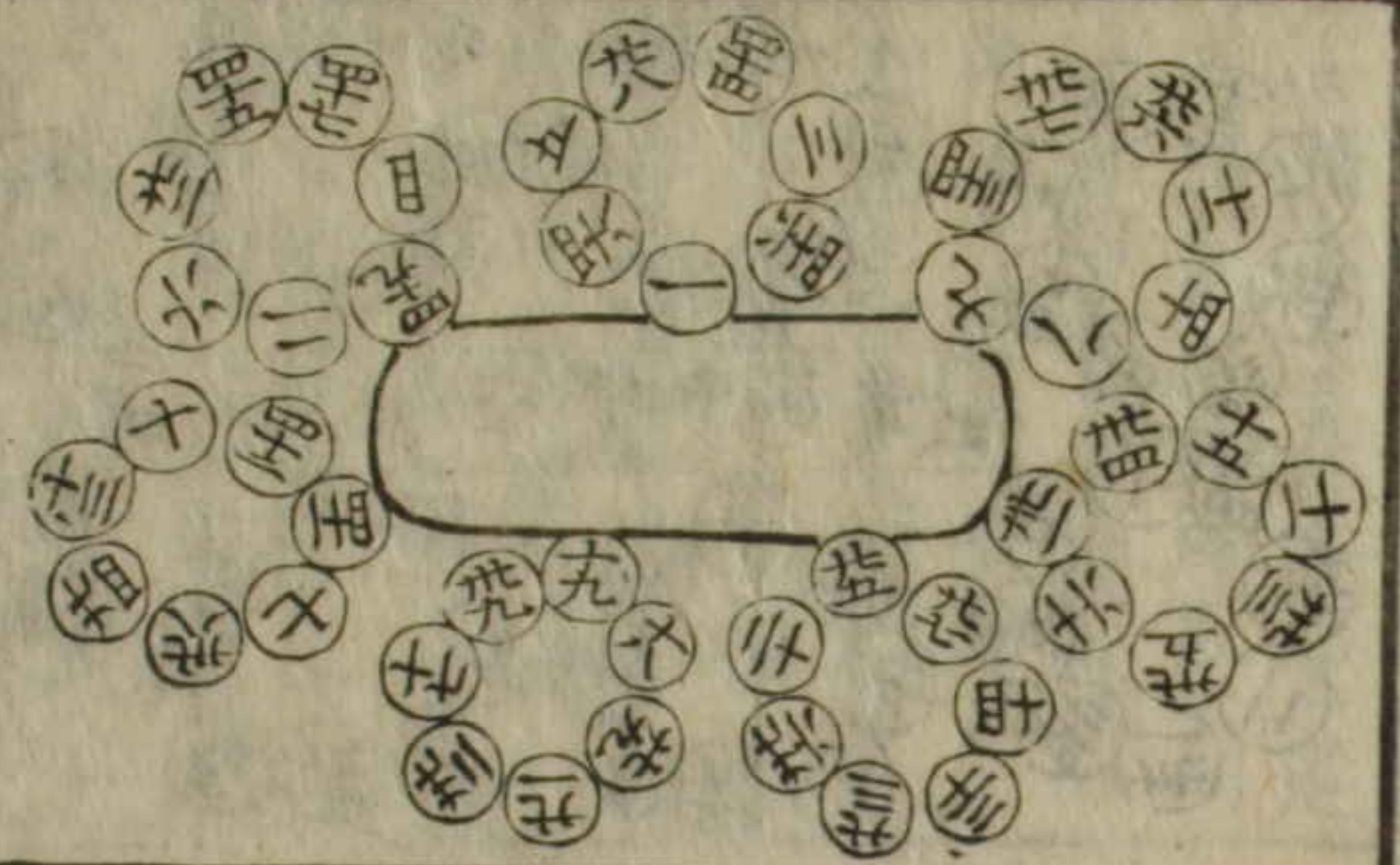
中一七加元

右路元也



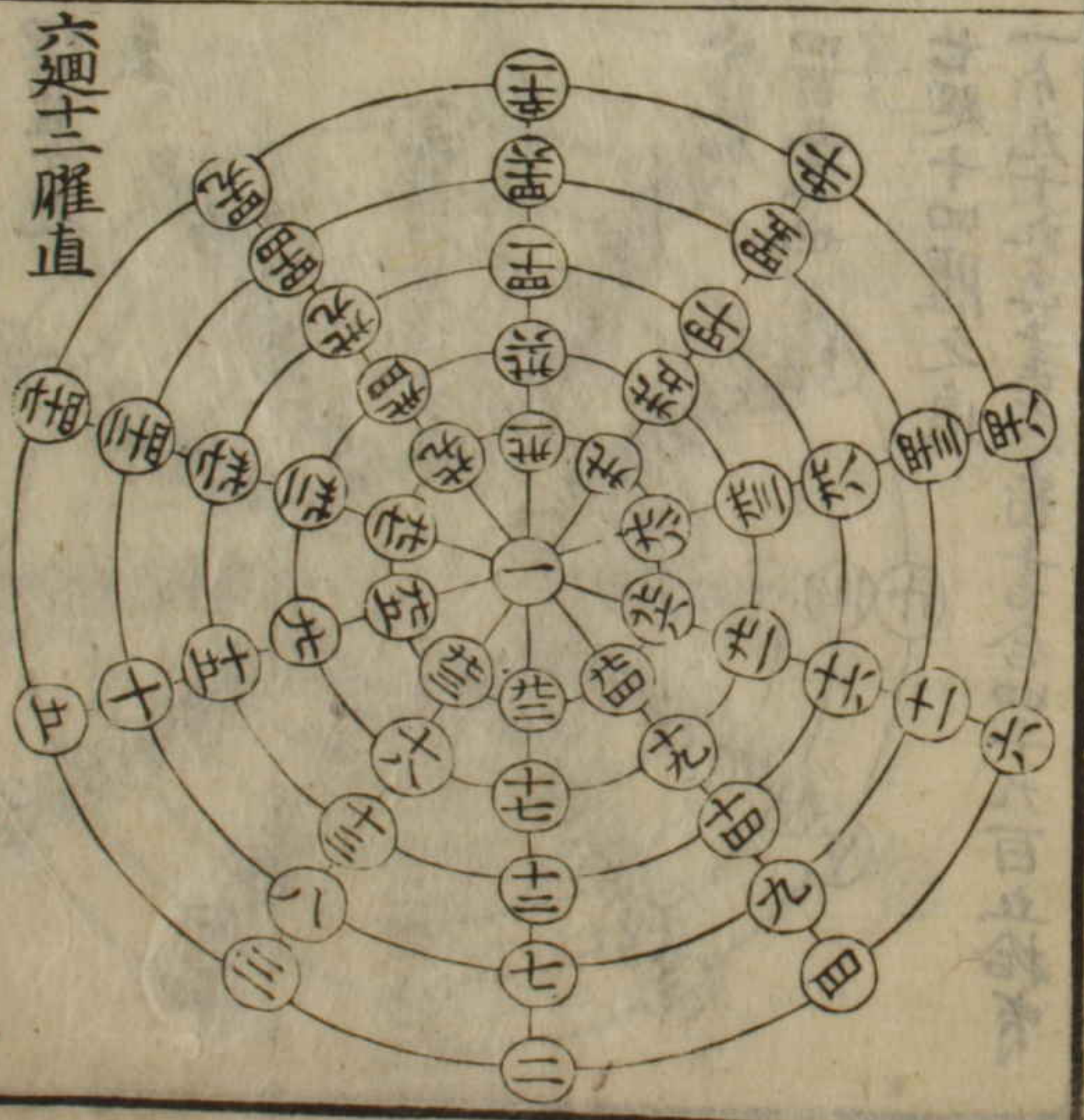
五廻十曜之直 百字直書之書之合千

三百字直何也七二百字元 中一七加元 二百六十六也



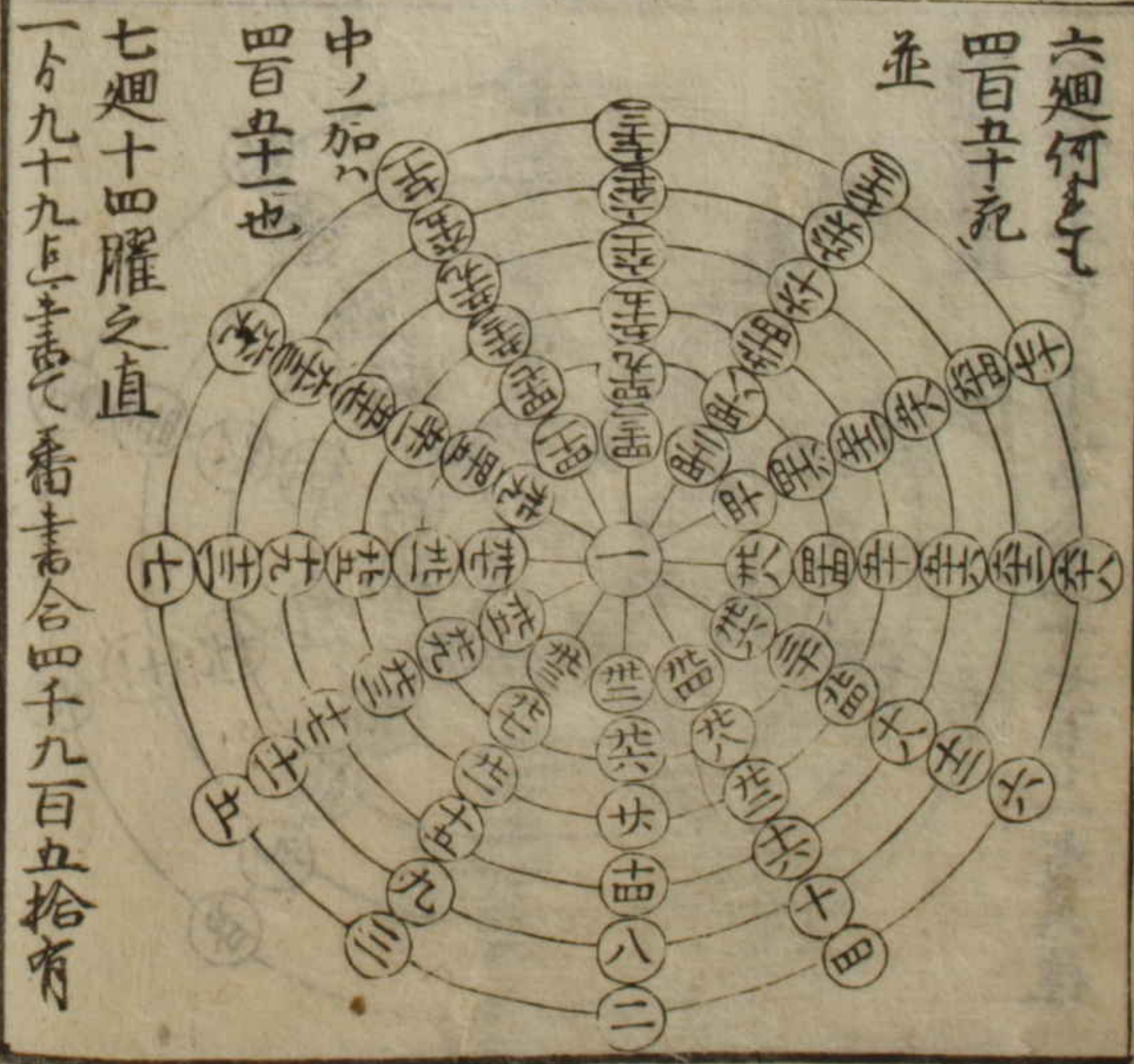
右廻百七十五個元

八六十四之輪直



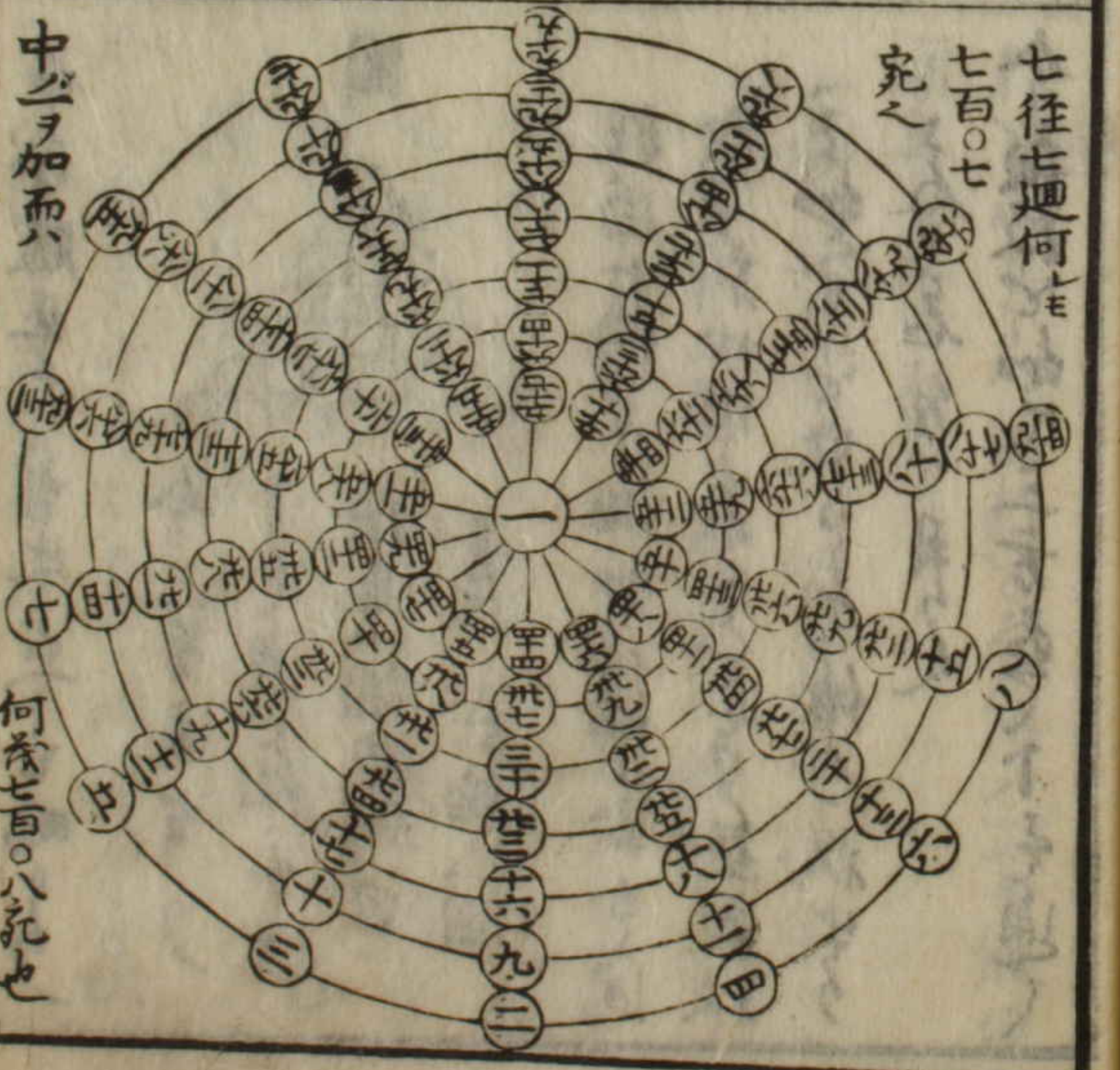
六廻三曜直

一八七十三直 書書合二千七百。一有六徑



六廻何直  
四百五十九  
並  
中一加  
四百五十一也  
七廻十四曜之直  
一分九九九直書之番書合四千九百五拾有

此曜直一分九九九直書之  
七徑何直也二徑廻教之同  
吾曰七音。七個亮  
術白下九九九合折本  
五十也是九九九圓四千九  
百五十一。分九九九七歸之如  
此直之教四千九百五十一也  
亦既直。並下徑也。同  
吾曰七徑七廻  
術白四千九百五十一倍九  
千九百也。亦書之一。一。一。一  
之。同。年。一。除。得。書。法。之。九。十  
九。以。內。一。減。止。余。折。本。一。七  
甲。九。九。九。九。九。同。年。除。如。之  
廻。王。徑。七。百。七。有。此。徑。高



七徑七廻何直  
七百。七  
宛之  
中一加而  
何者七百。八。九。也

言曰七徑七廻

御曰七百。七ヲ折半ニ百五十三五也。右方ニ一本ノ帯徑同ニ添知也。但一本ヲ折半心見テ七ト乘而減也。今方圓之略速有

並方三

但方也。帯書シ終リ方也。帯書シ終リ六字個少一方也。若シ較之倍と同言曰方七自圓

言曰方七自圓

御曰二十個ノ内一個減茶四十九ヲ算年除キ知也。今也七徑七百。七方圓同

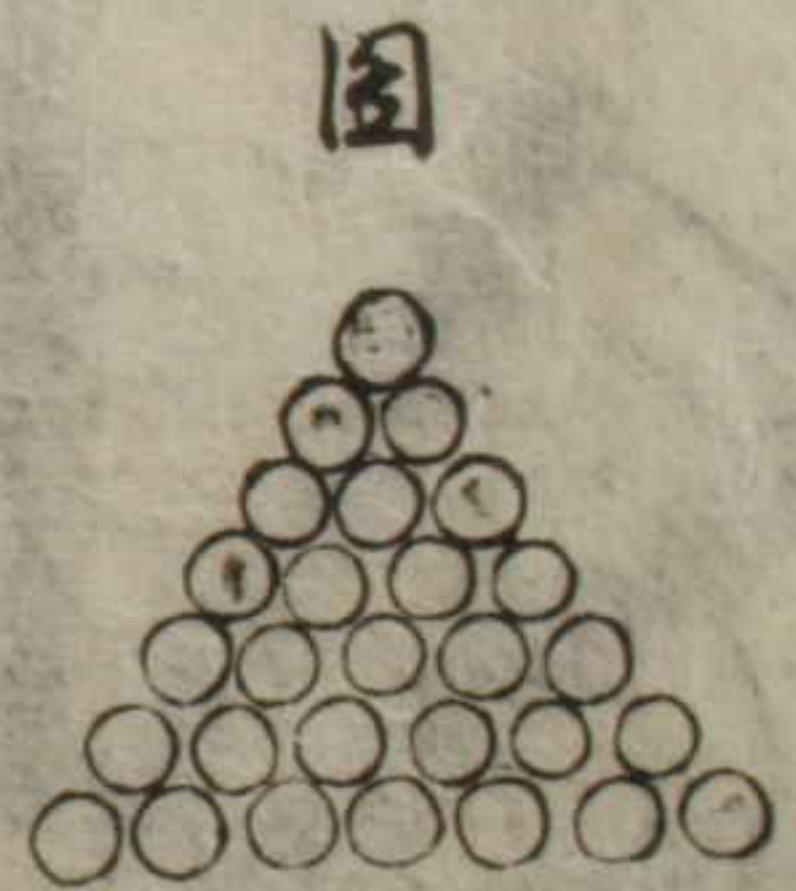
言曰拾四圓

御曰七百。七個ノ圓ノ得二千八百九八ノ方之六。帯徑同ニ添知也。但帯徑ノ方ノ知リテ圓ノ直番書シ終リ方圓直番書シ終リ少一方ノ圓八廻裏ノ名何れノ向

言曰方八自圓

御曰七百。内ニ減列ノ方一廻ト自圓ノ加ニ得亦六ノ方ニ同平法ニ除得六徑是ト倍ノ加候

右ノ圓直番書シ終リ有之ト云々ト略ナリ



今三方並有リト云々ト七個ト云々ト積留一個較ナリ

言曰式拾八個

法曰七個ト云々個如八個ト云々ニ減式ノ別四個ノ減ト云々ト等ニ較較ト云々ト世ナリト依リ較ナリト云々ト名付テ用ケル今較較ト云々ト三方並ト云々ト通ケル

較ト求メテ較較ト云々ト倍メ一帯徑ノ用年ニ添ナリ

右ノ法ニ根元ハ縱令斤換年ト云々今ノ三方並ハ檢地ニ換ルト云々ト云々ト換ミテ廣七ノ長七ノ斤換地ト云々ト云々ト七間合八ノ方ト云々ト云々ト刻式拾八ノ方ト云々ト云々ト得ト云々ト失人云々ト云々ト今三方並ノ下ト云々ト七個ト云々ト換留之個有較較何れト云々

得八枚より方也

圓雁直番書し終り  
方雁並し終り九十九  
五ハ方之通し傍有各何  
種也

善云 方八自因

善云 九徑九廻

佛曰九十九廻し内二減  
止余九十八是九一廻と  
自因而加し終り九十九と  
乃矣是倍二は乃帯  
縦用平法除得九徑也  
赤雁直廻教し四方雁  
並し廻教と減止余二十  
七百五有方廻同枚也同

善曰 方七自因  
善云 七徑七廻

佛曰二千七百五内二減  
て止余と三降し得千二百四十  
一三三二と倍之二千四百八十六  
六六乃美列一個と不五  
重除得六分六毛毛之  
一個加一六六と乃帯縦と  
用平法除得四十九  
是ハ入用平法除得  
七枚也  
三方並下一通と取て  
廻し候也  
下二つ時八月三光と  
下二つ時八月三光と六道と

並 取 候

曾問疑抄二

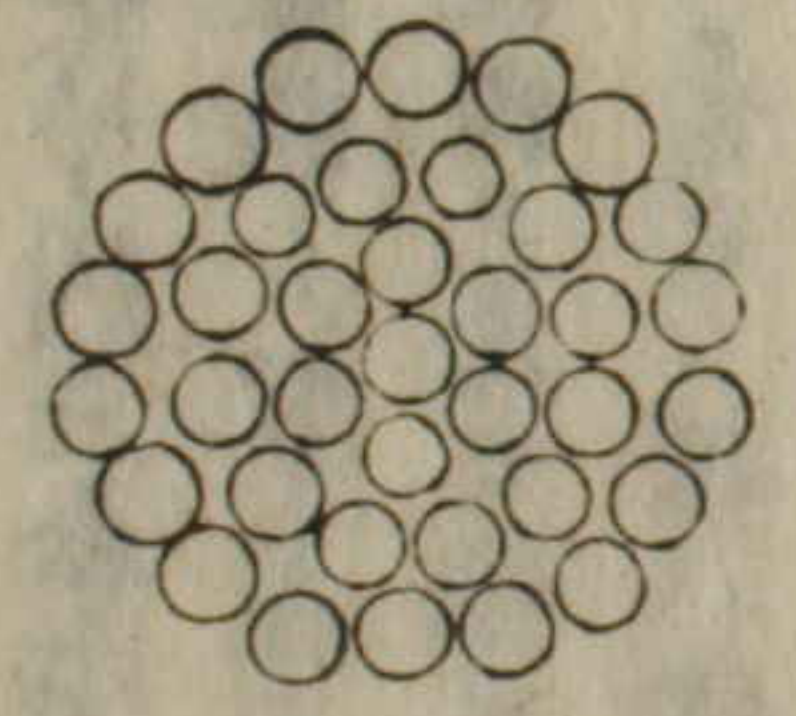
善云 五拾五個

法云七個二三個加指成是と二割  
五個と成七個自二個五個成是  
と右五個と廻廻教し是とせり  
と右成七個と成根元は内あり  
此七個自二個引成たはとと  
の枚取是ハ二徑とありし成は  
と一徑と引し検証たりし成は  
後三間度七は長五なり待腰なり  
と成は成は法と成は

善云 七個

法云二個内より引成個成是と  
成は別は二個と廻すなり三個と  
是と廻教し成は拾八個と成は成  
と倍は五拾六と成はハ一帯縦と  
長平除也

圖



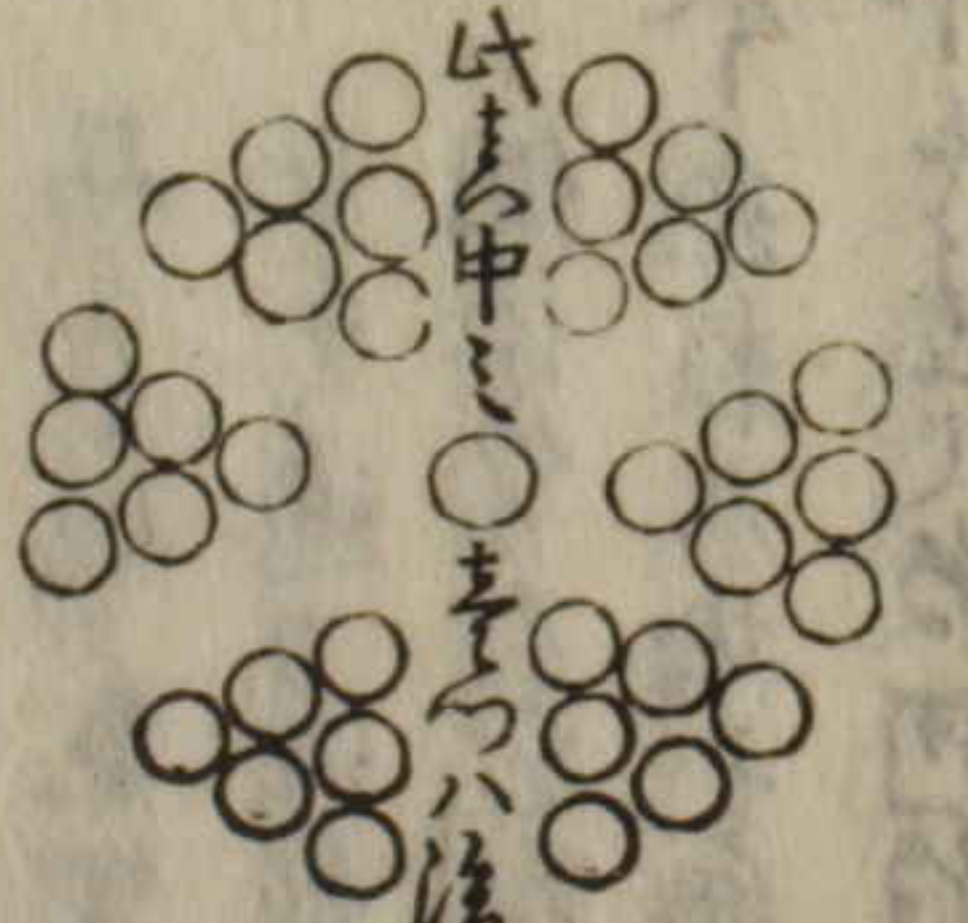
今成は並し廻廻り  
拾八個有廻教と台  
善云 五拾七個

法云廻り拾八は成加成指中成

下四の付八四方に十方と云  
 下五の付八四方に十五條と云  
 下六の付八四方に二十條と云  
 下七の付八四方に二十五條と云  
 下八の付八四方に三十條と云  
 下九の付八四方に三十五條と云  
 下十の付八四方に四十條と云  
 下十一の付八四方に四十五條と云  
 下十二の付八四方に五十條と云  
 下十三の付八四方に五十五條と云  
 下十四の付八四方に六十條と云  
 下十五の付八四方に七十五條と云  
 下十六の付八四方に九十條と云  
 下十七の付八四方に百條と云  
 下十八の付八四方に百五十條と云

是に拾八と無二拾式に成るはと  
 拾式に則ち拾六に成るはと云らるは  
 也と云らるは  
 今也拾三拾七個有也圓りて也と云  
 言と云 拾八個  
 法と云也拾五に自より引減拾十二に  
 是は以六乘後引用半法除也拾五  
 右圓形也引六に拾式に則ちの  
 と後と云らるは根原也  
 三方並六の合より引七に則ち三方  
 並と云らるは引六に則ちの

七と付入るとは依と依  
 と云は依に依は依と依  
 と合九依と入て下八表  
 の半の依はと九九とて  
 四九三十六とて初に  
 又七は積腰に引りて  
 上より十依しめて少り  
 八七依もなると先の引り  
 りりよ五七の三百五拾依  
 と依に依六依と云の教  
 八拾五依加て三百七十  
 五依と云は依と合て  
 依加りては依八拾一依と  
 七百五拾五依と云は依  
 發通と云は依と云らるは



紙金三方並と下  
 と云らるは根原也  
 拾二に則ち拾二は

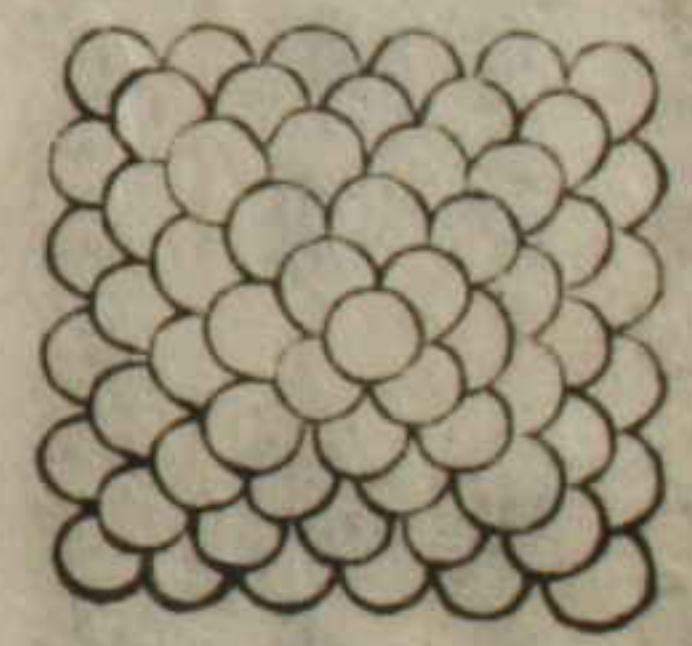
依の中にも、まう八後加也、一ッ加、拾二に則  
 二六に拾二と九九と云らるは依と云らるは  
 をり加る事と圓より云らるは  
 三方並の列と云らるは中より云らるは也  
 圓形並し、拾式に依りて、拾式に依りて、拾式に  
 依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、  
 依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、  
 依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、拾式に依りて、

三方並く赤形並く抑  
五十二個の赤形並  
り分三方並く一方ハ  
括三個かー多し台

方錐積

赤形の也十八個  
三方方五個  
抑と和五十二個の内言  
法五十一個一定法十二因  
得六百十二個と別と九十三  
個と六個加十九個と赤形  
十三個と兼得二百四十七  
個と赤形の内言減止余  
三百六十五個と内言六  
二個一四二八五七と赤形  
之別と九十三個と倍し

圓



今方准法し下を通  
六個の粗粒と台  
言と九拾と個  
法と下を通り六個  
より加七個と赤形又下を通り  
六個と半個加六個半と赤形  
七個と五拾五個半と赤形  
下を通り六個と五拾百七拾三  
個と成り是を准法三刻也  
今粗粒九拾五個の是と方准法  
下を通り粗何粒と台

言と 六個

二十六個を五個加五個  
と赤形と七個の別個四  
二八五七と赤形は五個加  
法と五個と二八五七一四と赤  
形の内言帯級同平法  
法と得五個と是三方並  
し一方なり  
赤形並三方並く個數  
合式百拾七個有圓  
形と也三方の方較  
ハ二個多し言と台  
言と 圓形の也十八個  
三方方五個  
抑白二百拾七個の内個  
減止余二百拾六個と是

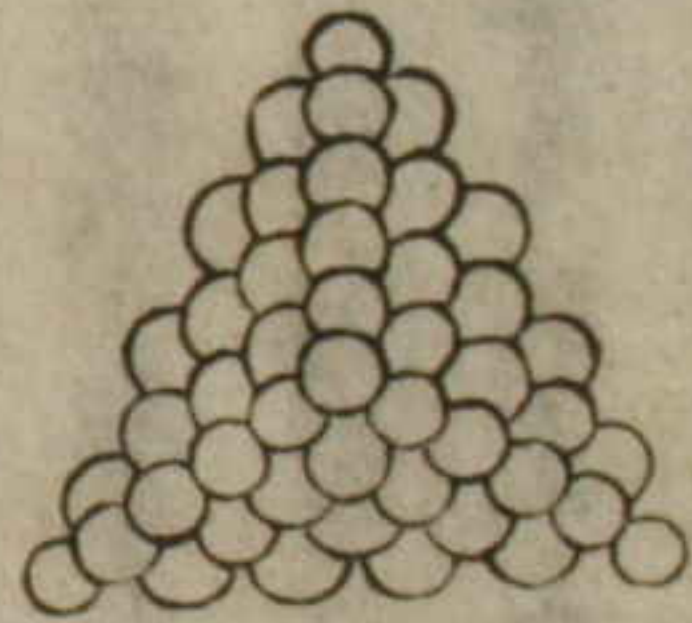
法と粗粒九拾五個と之と五拾百七拾  
三個と赤形は五拾五個と赤形  
法と之と式方五拾五個と赤  
形の内言帯級同平法  
帯級同平法今 高六個と赤形  
三拾六と赤形は一の帯級と九九と  
一三の三拾個引一六の六個引法てハ一  
個有別と入高六個加七個と赤  
形は高六と五拾五個と赤形は  
帯級と九九と五拾五個引二五と



法拾二と因得二千九百五十二個と別と二個と定一加へ候と三個と定く酒と困六個と候と六個と減之止余二千九百十六と定七降メ得四百十六個と五七二四二八五七二四二六とぬまを別と二個と定十二乗メ得二十四個と定十二個加候と三十六個とぬまを別と五個と五個と一四二八五七二八五七也の帯紙之周平法除くと形並と也と知

積錐方三

圖



一酒と引掛高較別下を通の較也  
 今三方堆積と下を通六個と較と也  
 言と 五拾六個  
 法と下を通六個とて個如七個と候と下を通りの六個と色四拾二個と候り別と入右と六個と式如八個と候と右の四拾二個と色二百三拾六個と候と累及つり別と較と知也  
 今較五拾六個有と式三方堆積メ

下を通と也

言と 下通 六個

法と五と三方並と合と音〇八個有と較と方板と尺較と也  
 言と 音十八個也  
 例と二百〇八個と白威と茶二百〇七個と定十二と乗得二千四百半個と定七とぬメ得三百五十四八五七二と定七と別と十二個と七ぬメ得一個七二四二八五七二との帯紙之周平法と除得十八個也  
 右三式之定法と十二と定と別と率と形並と法と入七と別と二方並と定六と女形と六個有と南と加と

法と五と較五拾六個と略法と色三百六個と候と式以式と重 高と六個ととて法と法と二方と合二百十六個と候ととと定六と別と式と拾個と定と有り板と帯紙の引候と今の六個と色合三拾六個と候と一の帯紙と九九と係一と二の三拾個と一六の六個と法と八拾四個有と右六個とと個加七個と候と右の六個と色四拾六個と候とと二の帯紙の九九と係二四の八拾個と

方准法也教九十個を  
 方教と申す別物ハ九十個  
 二箇ノ二百七十二個ハ  
 方教之別也申す一と  
 相因ノ申すハ方准法又  
 一と申す并合一個申す  
 尺ハ方准法用之ハ方准  
 得方六個也

積錐圖

二方准法ハ六者三方重  
 之ニ重シ准法ハ三箇圓  
 二方准法也教五十六個  
 有方方教と申す別物ハ  
 五十六個ハ六と乘得三百  
 三十六個と方准法之別也  
 相因ノ申すハ方准法又

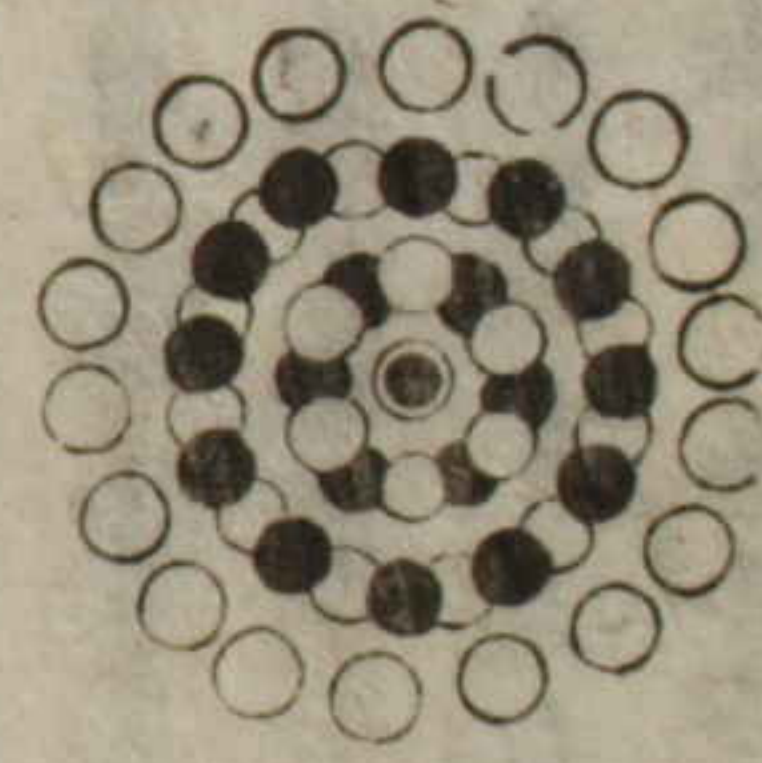
二の四個引排て也

今方准法ハ下

と通シ也教十八個

也教と申

言云 六拾四個



法云下と通拾八個六個加ハ正四個と  
 成下下と通拾八個と教四百九  
 二個と教列又と通拾八個十二加  
 二拾個と教是成下四百三拾二個と  
 教云方式九百六拾個と教是也略法  
 二と六と七刻六拾個と教列下と申す

列下二下并合三箇

為帯縦用之也陰也

圓准法ハ略法ニ也

又下十八相乗也

又下十六圓形也

十八者准法ニ也

教也

方准法ハ三方准法各

也教合百七個有り

何と方以教と何と

言云 言云方六個

教云教百四拾七個

六と乘得八百八十二個

と三と得二百九十四個

と方之別一個と申す

也

拾八個と六と刻三箇

四個と教是也右六拾個加六拾個

也教六拾四個也と圓准法下と申す

言云 下と通拾八個

法云也教六拾四個と四一個引排て六拾

三個と二と六と教是也方三と六と。八

個と教是也と方小並高十個と五と六個と

加拾六個と教是也高十個と教百六

個と教列又高十個と十二個加六二個

と教是也右と右六拾個と教三と六と

六個と教是也と方引排てと方。八十

乃帶級二個ヲ入ノ為第  
級用之凡除下ノ方較  
得六個也

方准換下三方准換合  
也較二百十個有方准  
換三方准換方面  
較二個多一者同

答曰 方准換方較六個  
三方准換方較八個

術曰二百十個を定て  
得子二百六十個列定二  
個を二個ヲ因四個倍之  
八個とや内分減又五二  
個自因定二個と乘得  
八個とや内分減之又五ノ

再自因八個を内減之  
止余子二百四十二個を  
三内メ四拾四個為実  
之列定二個を二個  
乘一四個又五自因  
而四個合八個定て

加九個と乘とを  
級用之法條得六個  
方准換三方准換合  
方較二個少一者同

術曰二百六十個を定  
自因五二個と乘得二  
個又五二個自因定  
個又五二個自因定  
得六十個の實之別  
列定て四合二個也

八個定有又高十個  
七千二百六拾個  
九千七百二十八個  
法初高十個  
百六拾個  
又次高八個  
初高十個十二個  
三拾個  
二十個  
拾個  
四十個  
個定有又高八個

二百八拾八個  
トを也  
右之也  
考ト得志

方准換方八個  
二方准換方六個  
方較二個少一者同  
方准換三方准換合  
方較二個少一者同  
方准換方八個  
二方准換方六個  
方較二個少一者同  
方准換三方准換合  
方較二個少一者同

六個と三箇メ二個と云々と是二個と兼四個也 又別と是自國メ四箇  
 傳メ八個と兼各并合而為十二個と是一箇加十二個と云々乃帯  
 傳別と又是二個と三箇メ十二個と云々と三箇メ四箇と兼是二箇加  
 供メ六個と云々帯傳メ四箇と云々と傳メ六箇と云々と傳メ八箇と云々と  
 貫同天と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と  
 兼也 兼合メ貫八寸九寸と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と  
 一尺四寸九分二厘八毫と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と云々と

下三寸と云々と一尺一六三七八と可兼  
 下四寸と云々と一尺一七〇七二と可兼  
 下五寸と云々と一尺一七二六六と可兼  
 下六寸と云々と一尺一七四六〇と可兼  
 下七寸と云々と一尺一七六五四と可兼  
 下八寸と云々と一尺一七八四八と可兼  
 下九寸と云々と一尺一八〇四二と可兼  
 下十寸と云々と一尺一八二三六と可兼  
 下十一寸と云々と一尺一八四三〇と可兼  
 下十二寸と云々と一尺一八六二四と可兼  
 下十三寸と云々と一尺一八八一八と可兼  
 下十四寸と云々と一尺一九〇一二と可兼  
 下十五寸と云々と一尺一九二〇六と可兼  
 下十六寸と云々と一尺一九四〇〇と可兼  
 下十七寸と云々と一尺一九五九四と可兼  
 下十八寸と云々と一尺一九七八八と可兼  
 下十九寸と云々と一尺二〇〇〇〇と可兼  
 下二十寸と云々と一尺二〇〇〇〇と可兼

貫八寸と云々と一尺一七二六六と可兼



一尺四寸九分二厘八毫

月之出潮入汐之事

朔日	十六日	四	卯	日出	酉	日入
二日	十七日	八	同	同	同	同
三日	十八日	土	辰	戌		
四日	十九日	其	同	同		
五日	廿日	同	同	同		
六日	廿一日	巳	巳	亥		
七日	廿二日	同	同	同		
八日	廿三日	午	午	子		
九日	廿四日	同	同	同		
十日	廿五日	同	同	同		

月之出潮入汐之事  
 朔日 十六日 四 卯 日出 酉 日入  
 二日 十七日 八 同 同 同 同  
 三日 十八日 土 辰 戌  
 四日 十九日 其 同 同  
 五日 廿日 同 同 同  
 六日 廿一日 巳 巳 亥  
 七日 廿二日 同 同 同  
 八日 廿三日 午 午 子  
 九日 廿四日 同 同 同  
 十日 廿五日 同 同 同

十五は...  
知ての...  
乃わ...  
三月...  
乃女...  
乃婦...  
乃女...  
乃女...

乃婦...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...

十日	廿六日	四十四	未	丑
十一日	廿七日	四十八	同	同
十二日	廿八日	五十二	申	寅
十三日	廿九日	五十六	同	同
十四日	三十日	六十	同	同

乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...

乃婦...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...

乃婦...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...  
乃女...

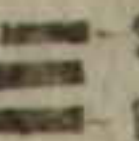
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...  
乃月...

本と引く外、夫とを

引地乃一と引人と三と  
引四府の如く引ひぬし  
ふと引六律六と引七  
星と七と引ひぬす流石  
双星と見こ考「智也  
付と「「教多「流付を  
八風と八と引くと伝也  
是「引「流て十「方田  
教小流「「流教也  
又「八引小流「見う傳  
り「也「妻婦「年と  
受娘の月とと「元「  
流と「六一如「流「事  
復と「六一如「流「事

此島惣野浦が括込遊佐中は白石  
と七拾五里括込統「「場大坂の激  
「り明石の「「府か「「懐慶の  
地「「括込「「府と「「中の地ハ  
彼お「「地「「府か「「大坂が白石  
「府三府か「「又筑紫地  
関方さ「「「この美「「半ぶん  
白石「「括込白石「「乃「「  
仍合「「も又友方「「初々  
是「七拾五里也「「の美「「津中  
乃地下の関小括込是「七拾五里と

叔父合て連新「名有  
連「男新「女「如  
元「の夫「年二十  
婦「年二十「受娘  
「月七月「

<sup>以申</sup>  女  
卦と元と断と  
を依て胎内  
子女「

- ≡ 乾皆連 男也
- ≡ 兗上断 女也
- ≡ 離中断 女也
- ≡ 震下連 男也

繪圖秘妙二

地「「「也何「「下の関「「  
七十「里「「惣野と九州「「  
「「「七拾五里「「  
又大「小関「「の括込  
他行地「五日「十日「一方「  
いつ「も「時「「「知「  
不「入「「「知「  
「「「「  
遠「「見「  
彼「今「小樹「「目「  
「目「「「何「

三二二

三巽下断 女也  
 三坎中連 男也  
 三艮上連 男也  
 三坤皆断 女也

右通連の男断の女を  
 惣病人の言息と知  
 る女有り病人と事  
 於付る月と日と  
 合こと色九ヲ掛  
 ころいわたりあれた  
 死と云ふは清き  
 ころのときいふと  
 なくとも年々  
 人

見候りしは  
 又の縦横  
 目付と又字  
 目乃者  
 用て美  
 知る園  
 縦合  
 向の樹  
 中の目  
 以て刻  
 五分

拾五寸  
 十七寸  
 下寸九寸  
 死に南  
 女は縦横  
 見り  
 五分と縦  
 刻一尺  
 七寸五分  
 見ら下  
 刻を

十二月  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

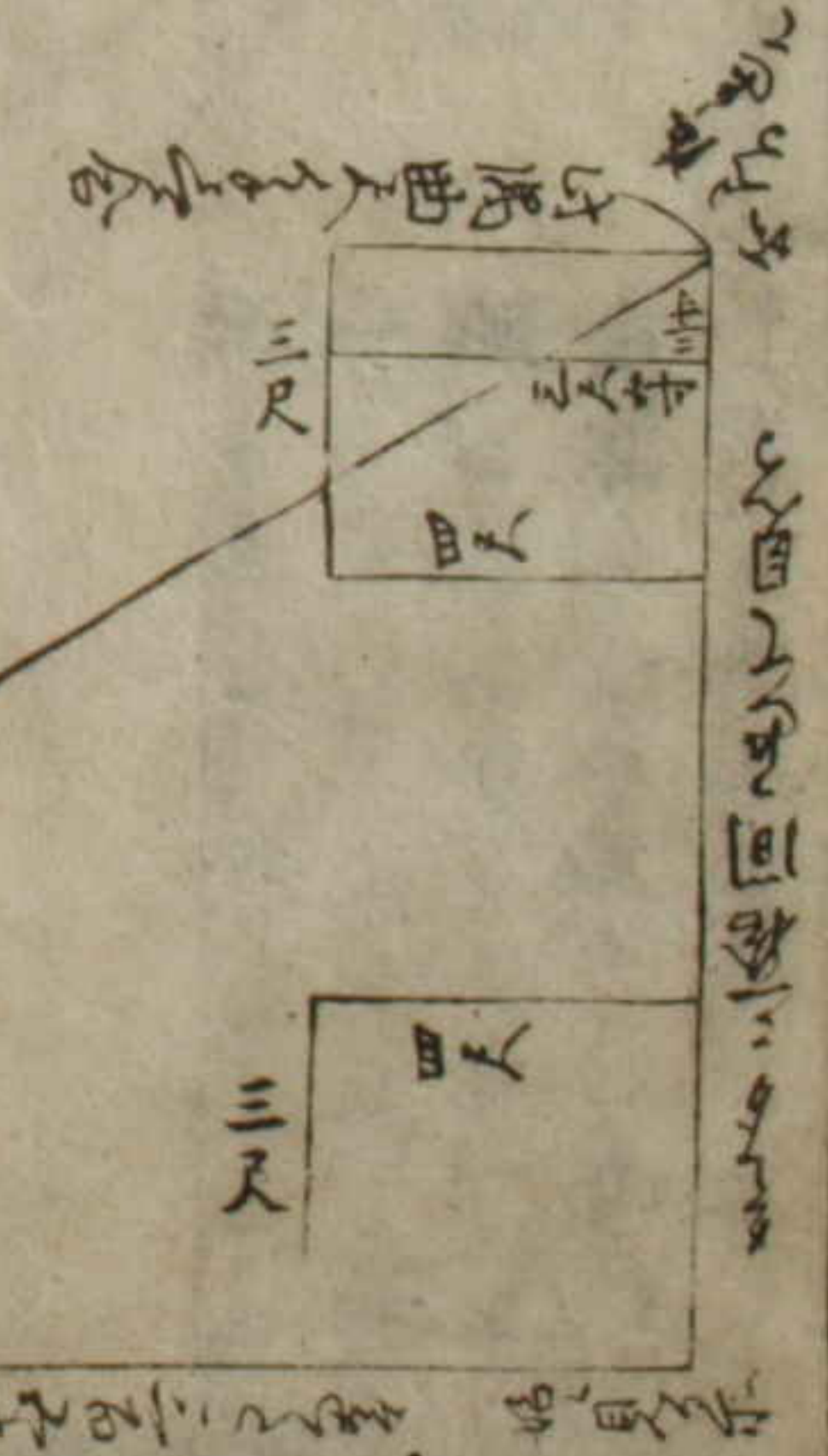
何六尺  
 沟股  
 は根源  
 作之  
 の多  
 日

拾五寸  
 十七寸  
 下寸九寸  
 死に南  
 女は縦横  
 見り  
 五分と縦  
 刻一尺  
 七寸五分  
 見ら下  
 刻を





如計りて三拾拾る退くを圓と  
曲くと面て角方角は自南西と  
見とて一三拾拾と三寸はさ  
尺とて三拾拾と南と北三尺五  
寸とて北を三三而六寸とて  
は板圓の北と道具定まて  
況は板まはさる圓に入  
わら何ての時も板はさる板も  
始お見さるに直見とて一の北と  
見さるを板と二寸の板をわて  
三人守有らと百守らと二人守  
わらとさるらと又とて板を  
長と尺板もと後するらと具と  
南のさるらと二丈とわらと二  
おれさやすとわらと守とわら



川の度さとしてさる  
半とて人の歩か  
突板もとも有合ふ  
まを拵てを杖の先と  
向の川とて見南ておれと  
せん浦まらとて  
知とれは方ら川とて  
杖先の南と北と圓と打  
他は方は方して川とのとて  
とてを字する内とて  
街り分川の度とて  
見る付くさるらと  
我目やるかむして  
主換子の行は先と

川の度さとしてさる  
半とて人の歩か  
突板もとも有合ふ  
まを拵てを杖の先と  
向の川とて見南ておれと  
せん浦まらとて  
知とれは方ら川とて  
杖先の南と北と圓と打  
他は方は方して川とのとて  
とてを字する内とて  
街り分川の度とて  
見る付くさるらと  
我目やるかむして  
主換子の行は先と



中ふ糸牙とを色して又虎扱う竹の立不し我立不のうと  
 打て垂扱えら竹とだはり小字け方の川とえらうし  
 竹と我くのら敷と門おぼる分と川の廣とと知つて又えら  
 をえらとて人々とて空方扱と角が角とて切て木切角と本と  
 之をねとけ方し川とたえとて我牙とを色して向の川とを切ら  
 角ふと南又け方とて我牙の立不を立不とらね備て  
 切ら角  
 又と南と  
 知たて

右板の圓如流



此をどうけてえらと紙と  
 空方切て角と又切て  
 右板とて又と  
 わらりけしるおりけり  
 きたるまはけし他と  
 下とてとらり

之材は又板の色と有らんとて又えらわ  
 見らとて杖と持本ととて杖とえと南と  
 本の根と杖持らるもとと小と南と  
 ととらとて杖のえと南とと  
 らとらとて又とら  
 材とととととととと  
 之の根のえと杖と  
 行眼ととてと  
 と



杖小うけりつて本  
 とととととととと  
 右板本のとととと  
 若けり



いら敷と打て本のとととと

海中の物ふと影ふくまふと半と立  
 又秋の之 維令今海中に 存有と暮  
 長と三言の半と立 平ら然と暮りて  
 山といふとくくふ乃先と及後一入  
 別子三言分三百物と暮りて又長三言  
 半と立三言分海と暮り山とい  
 くと及と及日く一 扱今及暮り  
 取今今半と暮と暮と打ん中時  
 小指有り扱及月目及くく  
 又たくくくやん八寸有くくく  
 と六寸と刻てる後と人くく  
 八分くめけと御有半の暮と  
 三言の内目及くく八分と川  
 流り二言二分半と暮り  
 三言と暮六言六言暮る暮



是と及美別後半と  
 我のるみ指及くく内  
 おくくわね指及くく又  
 ると及法及と刻而暮り  
 一及及半三言加一  
 然と白三言三言と  
 物ふくくく  
 又とく三言及  
 五言と及三言及  
 外及及と及  
 法及三言刻及得  
 三言と及則け  
 方が向く山の  
 中及及の



